

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

りつめい No.252 / 2013年4月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行

発行人 / 山中 諄

編集人 / 中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumei.jp>

E-mail : alumni@st.ritsumei.ac.jp

Brilliance
輝くひと
84

「自分らしさ」貫いて手にした勝利
プロゴルファー
永井 奈都 さん (04 経営)

特集Ⅱ

校友会未来人財育成基金
「校友による新たな「後輩・母校支援」の形」

特集Ⅰ

校友会とわたし
「校友会に参加してみませんか」



03 特集Ⅰ
校友会とわたし
～校友会に参加してみませんか～



SPECIAL

06 特集Ⅱ
校友会未来人材育成基金
～校友による新たな「後輩・母校支援」の形～



01 輝くひと
永井奈都さん



08

08 RITSUMEI INTERVIEW
牛若商事株式会社 代表取締役社長
森村義明さん

12 震災関連記事
関西県外避難者の会 福島フォーラム代表 遠藤雅彦さん
立命館大学校友会東日本大震災義援金について

14 海の向こうの立命人
NCH Technologies(S)Pte Ltd代表 長末和則さん

15 校友会ネットワーク

16 校友NEWS

18 都道府県校友会・学部校友会連絡先一覧

20 立命館はご卒業後もあなたのそばに

22 立命館のゼミナール訪問
産業社会学部 坂田ゼミ
薬学部 服部ゼミ

24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人
田中伸幸さん

30 INFORMATION

31 編集室から



24



26

｜ 輝くひと ｜

プロゴルファー
ながい なつ
永井 奈都さん
(’04経営)



「自分らしさ」貫いて手にした勝利

昨年9月に開催された『マンシングウェアレディース東海クラシック』で、最終日に首位選手を逆転し、プロ11年目で初優勝を飾った。「少しでもうまくなりたいという気持ちでプレーしていたけど、優勝はまったく頭になかったので本当にびっくり。思い返しても不思議な感じがします」。

立命館宇治高校時代に関西女子アマチュア選手権で史上最年少優勝。大学時代も数々のタイトルを制し、3回生の時にプロテストに合格。「女子大生プロ」として話題を集めた。しかし距離が長いプロのコースは、非力で飛距離が出ない永井さんを苦しめた。レギュラーツアーにフル参戦できるようになったのは、プロになって5年ほど経ってから。実力ある若手が台頭し、次々にタイトルを手にしていったが、プレースタイルを変えず自分を貫いた。『「アプローチとパターで粘って、拾って、耐えて』が私のゴルフ。これしかできないからというだけだけど、周りと同じものを目指すのではなく、自分を信じてやるしかない」。普通より少し垂直に振ることで、飛距離の代わりに手に入れたのは高い正確性。足りないものを補おうとして生まれたそのスタイルが、大会で実を結んだ。

壁が立ちはだかって、ゴルフへの情熱が消えたことはない。「9歳の頃からやっても、今でもゴルフは難しい。だからうまくいかなくて当たり前。うまくいかないというのは、改善する余地があるということ。やれることがあるうちは、まだまだ成長できる」。近年はフィジカルなトレーニングを始め、海外合宿にも参加するなど、環境面で変化を採り入れている。「いま、体の変化を実感している。戦える状態ができてきた」。

2013年の開幕も間近。「大会で海外に行っても様々な場で立命館の校友の方に出会い、その活躍ぶりに驚かされるとともに、とても励まされています。これからも私らしさを大事にしながら、もっともっとうまくなれるように。そう思って努力していれば、結果はきっとついてくる」。

(写真・小幡豊 文・平松万知)

｜ 特集Ⅰ ｜

校友会とわたし

～校友会に参加してみませんか～



みなさんは『校友会』を知っていますか？

思い出話を語り合う同窓会？

卒業生と母校を結ぶ事務作業をするところ？

立命館大学の校友会活動は、実は全国各地で活発に展開されています。

卒業生が母校とつながるだけでなく、卒業生同士互いにつながりネットワークを広げることで、大きな可能性が生まれる場所、それが校友会です。

特集では、校友会への参加を通して自らを発展させてきた校友たちに、校友会活動の魅力を伺いました。この冊子を手に入れているあなたも校友会の一員。

「自分には縁がない」と思っている方も少しだけ勇気を出して、一度、校友会に参加してみてはいかがでしょうか。

母校から遠く離れた地でも、同じ思いを共有できる仲間との新しい出会いがあなたを待っています。



R Alumni

校友会とわたし

～校友会に参加してみませんか～

谷口美波 さん（'06産社）

福井県校友会幹事、校友会本部総務委員 日華化学（株）勤務



就職で地元へ帰ってきた年に総会の案内が届き、「最初だから行った方がいいのかな」と、**なんとなく参加したのが始まり**。

初めは心細くなったりもしましたが、食事が始まるとテーブルを超えて話したり、連絡先を交換したりするようになり、一気に打ち解けることができました。

学生時代は、校友会が具体的に、ましてや都道府県単位で活動しているとはまったく知りませんでした。年配の方やサラリーマンが多いというイメージでしたが、参加してみると思った以上に若手や女性に参加しています。同じ大学を卒業したという唯一の共通点ですが、それをきっかけに老若男女の区別なく話することができ、居心地が良い。宴もたけなわになると全員で「グレーター立命」を歌う時には、いつも完全に一体感が生まれています。

校友会を通して出会った校友と仕事でも大いに関わることになったり、仕事を通して知り合った校友と大学の話になって意気投合したりということも少なくありません。何か仕事面で相談したいことがある時には「校友会のあの人に聞いてみよう」と思うことも多く、いろんな場面でお世話になります。同級生でもない、職場関係でもない、不思議な感覚の仲間ですが、それぞれの分野で活躍している素敵な方々と話すことで、自分も学ぶことが

多く、元気をもらっています。他大学出身の方に「立命館って仲がいいんだね」と、うらやましがられることもしばしばです。参加する時には、仕事はもちろん、恋愛のこと、家族のこと、いろんな話題で話すようにしていますが、「**職場の仲間とは話さないようなことでも校友会の仲間には話せる**」ということはたくさんあります。そんなところを引き出して、「また来たい」「次はあの人を誘って来よう」と輪が広がっていくと素敵だなと思います。

福井県校友会では、飲み会やBBQなど、若手の集まりを年に数回行なって親睦を深めています。また、毎年秋に開催される「スーパーレディス駅伝」では、例年出場している立命館大学女子陸上部の応援を若手が中心となって企画しています。最初は若手だけでやっていましたが、昨

年は先輩方も参加して一緒に盛り上がりました。先輩方が企画するゴルフコンペも近々開かれるようで、世代間の交流も始まっています。私が**これからやってみたいと思っているのは女子会**。他の地域でも行なわれていますが、主婦や子育て中の方でも参加しやすく、リフレッシュできるような企画ができたと思っています。学生時代の楽しい思い出、社会に出てからの悩みや喜び、どちらも共有できるのは、まさしく校友の醍醐味。年を重ねても、学生時代と変わらぬ気持ちで楽しめる仲間が全国の校友会で待っていますよ。



坂本智恵子 さん（'07法）

北九州校友会幹事、立命館大学校友会未来人財育成基金募集推進特別委員（RFSリーダーズ）
SMBC日興証券（株）勤務

新入社員時代、仕事がうまくいなくて悩んでいた時に、立命館OBでもある上司に「校友会に行ってみたら」と勧められたのが参加のきっかけでした。何度か参加するにつれ、**とてもフランクな交流ができる場**だと分かり、ずいぶん印象が変わりました。参加するようになって一番良かったのは、地域の情報がたくさん入ってくるようになったこと。就職を機会に初めて北九州で暮らすようになった私は、入社して半年が過ぎても町のことがわからない状態に危機感を覚えて参加したのですが、校友会の先輩たちに、他業種の景気から町の歴史まで、その土地で暮らすならば知っておくべきことを教えてもらうことができました。すると仕事でお客様とお話していても「この話、聞いたことがある」と思うことが多くなり、会話もはずむようになりました。参加する時に私なりに心がけているのは、なるべく年齢が離れた方と話すようにすること。年上の方からいろんなお話が聞けるのは貴重な機会なので、積極的に話しかけるようにしています。校友会の仕事で頼まれたことはできる限り全部引き受けてみるようにもしています。それは、**関わることで広がるものがあると実感**しているから。現在は、北九州校友会の幹事をはじめいろいろな役を任せてもらって、少し忙しくもありますが、仕事の合間の良い息抜きになっています。

九州・沖縄ブロックでは、博多で開催した2010年のオール立命館校友大会を機会に、各県に留まらないネットワークができました。県をまたいでこんなにたくさんの方とつながるなんて思いもよらなかった。いわゆる異業種交流会は参加しても1回きりの出会いで終わってしまうことがほとんどですが、母校が同じという共通点のある校友会の出会いには、長く続くものになる。校友会を通して出会った人はおそらく何百人にも上ります。もし参加していなかったらこの出会いはなかったのかと思うと、とても大きな違いだと思います。無条件で愛情をもって接してもらえて、いつでもおいでと言ってもらえる。そんな環境は、大人になると校友会か家族ぐらいではないでしょうか。特に仕事で故郷や家族と離れている人にとって、校友のつながりというのは特別な存在です。SNSを通したつながりのような、今ある交流の方法とは全然違うけれど、実際に会って生まれるつながりの方が大事。校友会では、**横のつながりが増えるだけではなく縦のつながりが増えます**。まだ一度も参加したことのない皆さんにはぜひ参加してみてください。できれば、校友会の魅力をちゃんと知るために、せめて3回はチャレンジを！



こらい 午来広太 さん（'07経営）

北海道校友会「平成の会」理事 アデコ（株）勤務

新入社員当時、私は営業で何とかオーダーを獲得したいということしか頭にありませんでした。そんな時に、仕事を通じて北海道校友会の若手中心の会『平成の会』代表の田原咲世さんと出会い、「校友会の会場で名刺を配ったら、一気にキーマンと関係が作れるよ」と誘われて校友会へ。総会会場では、各テーブルを回って大勢の方に紹介していただき、それを機会に積極的に参加するようになりました。以前は、校友会は、どこにでもある同窓会のような、思い出話をする場だと思っていました。けれど初めて参加した時に、「先輩を利用(活用)するのも本人の考え次第。どんどん踏み込んで、自分の人生を変えるきっかけにしてほしい。そして、それが立命だ」と話す廣長明夫北海道校友会会長の言葉を聞いて、**良い意味で自分が持っていた「同窓会」のイメージと違うのだと**分かり、「それでいいんだ!」と、**自分の正直な気持ちをぶつける場**になりました。

参加するようになって、交友関係は業界を問わず広がりました。北海道だけでなく本州まで仕事広がったこともあります。校友会の一番の魅力は、普段、会社で相談できないことも相談できるということ。実際にこれまで何度も力を貸してもらいました。校友の先輩方は親身に話を聞いてくださるので、自分にとってもう一つの会社のような存在。仕事上の悩みや将来については、校友の先輩に相談して方向性を決めています。色々な悩みを持った**自分を、否定せず受け入れ、力になってくれる**。知識と経験、行動力を持った先輩方にはいつも刺激をもらい、その懐の深さにとても感謝しています。北海道に限らず、校友会をひとくくりに考えれば、全国に先輩方がいるというのはとても心強いことです。

平成の会の理事として、まだ活動に参加していない若手の校友と関わりを持つことが自分の役割だと感じています。校友が経営するお店でイベントを開いたりして、そんな校友たちが今後進んで参加できるようにしていきたいですね。近い将来独立したいと思っている私は、いつも「自分は今後こうなりたい」「こういうことがやりたい」という考えをもって校友会に参加しています。普段だと「バカだね」と言われそうなことも、校友の先輩には本心をぶつけられる。大変貴重な場です。まだ参加したことがない方も、自分になりたいものや、やりたいことがあれば、絶対に参加してみるべき。校友のつながりは、会社、家族、仲間に加えて、最も大事なコミュニティの一つになるはずです。



写真左：午来さん、右：田口さん

1月に開催された北海道校友会総会に初参加。**学生時代には出会えなかったような方とつながりが生まれた**ことにありがたみを感じました。北海道にいるからこそ出会えた方がほとんどで、初めて北海道で暮らす私に地域性などを教えてくださり、大変勉強になりました。

私は、学生時代から若手校友を中心とした活動を行なう「リコネクト」に参加してきました。リコネクトでは、比較的年齢の近い社会人の方々と話す機会が多かったので、社会人になった際のイメージを膨らませる上で大変役に立ちました。社会人になってからは、校友会という場に対して「ビジネスを学ぶ」という視点が大きなウェイトを占めるようになり、職業柄、地域経済の特性などの情報収集もさせていただいています。

校友会に参加すると人の輪が広がる。関西出身で、北海道に知り合いがあまりいなかった私も、日頃のビジネスシーンでは出会うことのない方と接点を持つことができました。けれど昭和卒業の方同士は非常に強いつながりがある一方で、私のような卒業して間もない世代は少数で、物足りなさも感じます。今後も参加してつながりを広げ、特に若手同士のつながりでビジネスを巻き起こしたいと考えています。



まだ社会人一年目の私は、常に先輩から学ばせてもらおうという思いで参加していますが、校友会で得られるものはとても大きいと思います。会社内の付き合いが多く、**視野が狭くなりかけていましたが、校友会の方々と出会ってぐっと視野が広がりました**。校友のつながりは、なにか困った時に助けてくれる存在にもなると思います。みなさんの積極的なご参加を期待しています。

田口弘樹 さん（'12国関）

北海道校友会 野村証券（株）勤務

お住まいの都道府県などの校友会連絡先はP18 ～ 19に掲載しています！

校友会未来人財育成基金

～校友による新たな「後輩・母校支援」の形～

立命館大学校友会では、母校に学ぶ後輩を支える最大のサポーター組織であり続けるために、校友一人ひとりの「立命館の未来は私が創る」という想いを紡ぐ、恒常的に息の長い支援が続けられるサイクルを生み出したいと考えました。校友の支援で後輩が育ち、後輩の成長が母校を発展させる。その具体化が「校友会未来人財育成基金」です。

前回の会報「りつめい」の特集記事では、「校友会未来人財育成基金」の理念や、その共感者の輪を各地で拡げる役割を担うRFS(Ritsumeikan Future Supporter：立命館未来サポーター)やRFSリーダーズの活動等についてお伝えしましたが、今回はその活用方法やお申込みに関する詳細についてご紹介いたします。

第1次活用プランとして次の内容を大学に提案しています！

**第1次
活用プラン**
2012年～2020年
目標**10億円**

「学生×校友×京都」

グローバル人材育成交流拠点の設置

～過去・現在・未来を結ぶ空間、校友の経験値を後輩に繋ぐ出発点～

1 基本コンセプト

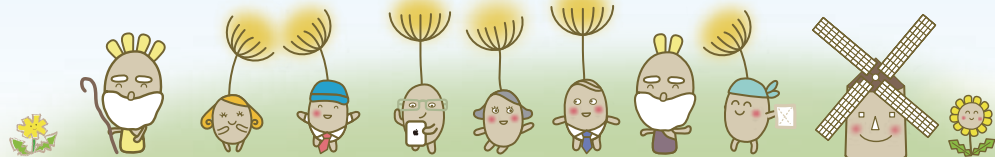
- ① 立命館発祥の京都に立脚し、京都で学ぶ誇りを醸成する。
- ② 「立命館アイデンティティ」を育てるため、校友と在学生在が交流する場を設ける。
- ③ 京都を中心として滋賀・大阪のキャンパスを結び、「新たな学びの場」を創出する。

2 目指す方向性

立命館大学の京都・滋賀・大阪の3つの拠点の学生が相互交流を行うことができ、また、校友と学生が有機的に繋がる(就職支援等)こともできるような立命館教育の発信の場を目指す。加えて、従来にはない校友と学生との一体感を醸成するような「校友会館的機能」も重視する。

3 具体化案

コンベンション・セミナーハウス
・京都／滋賀／大阪の3キャンパスを繋ぐ正・課外活動
・学生と校友による会議の開催・宿泊
・利便性や地域性を生かした国際学会等の開催
・公開講演会や就職・資格セミナー等の開催



後輩(現役学生)の声 Student's Voice

畑田 麻美 さん(国際関係学部 [衣笠キャンパス])

私が通う衣笠キャンパスとびわこ・くさつキャンパスの学生で合同プロジェクトを行なっています。違った専門分野を学ぶ仲間同士で作業をすることで、お互いの知識や能力を相互に補い、伸ばすことにつながっています。コンベンション・セミナーハウスが両キャンパスと大阪茨木新キャンパスからもアクセスの良い場所にできれば、所属するキャンパスをこえた交流が格段に行ないやすくなると思います。

劉 文傑 さん(経済学部 [びわこ・くさつキャンパス]) ※台湾からの留学生

私が参加した「グローバル人材育成プログラム」では、国籍や学部を超え、留学生と日本人学生がチームを組んで課題に取り組みました。育った環境や文化の違うチームメイトとの議論は、これまでの固定観念を覆す発見が多く、非常に刺激的でした。他のキャンパスの学生と一緒にグループワークや合宿ができる施設は、成長の機会も増えるので楽しみです。



募集要項

後輩の学生がもっとワクワクする大学へ！今よりさらに笑顔が溢れるキャンパスになるために！

未来を信じる「力」、未来に生きる「力」を持った学生を育てるために。

あなたもぜひこの「立命館」の未来を創る活動にご参加ください。

気軽にひと口1,000円から何口でもご支援いただくことができます。

息の長い継続的なご支援をお願いします。

1. 寄付の金額

- (1) 個人の場合／ひと口1,000円からご支援いただけます(継続寄付[毎月・毎年・年2回]が可能です)。
- (2) 法人の場合／ひと口の金額は特に定めておりません。

2. 募集期間

期間に定めはありません。

3. 寄付の目標額(第1次プラン)

10億円(2012年10月1日～2020年3月31日)

4. 申込方法

- (1) 個人としてご寄付いただく場合…

★ 継続的なご支援にはWEBからのお申込みが便利です。

★ 今回の会報にゆうちょ銀行の振込用紙が同封されております。ご活用ください。

① WEBをご利用の場合

立命館大学校友会のホームページよりお申込みください。
簡単な手続きで完了いたします。クレジットカードにてご寄付いただけます。



<http://gift2r.info>



←携帯電話からのアクセスはこちら！

※一部機種によっては
ご覧いただけない場合がございます。

② ゆうちょ銀行をご利用の場合

今回の会報に同封しております「払込取扱票」に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

③ その他

その他の銀行振込や現金書留によるご送金や事務局窓口での受付もいたしております。
詳細については、校友会事務局までご連絡ください。

- (2) 法人としてご寄付いただく場合… 詳細については、校友会事務局までご連絡ください。

5. 税制上の優遇措置について

立命館大学に対するご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

個人の場合	法人の場合
「税制控除」と「所得控除」のいずれかを選択いただけます。優遇措置を受けるには、確定申告の際に本学発行の「領収書」の添付が必要となります。	企業等法人からのご寄付につきましては、寄付金額を当該事業年度の損金に算入できます。詳細につきましては寄付事務局までお問い合わせください。
● 所得控除 控除額＝寄付金額※1－2000円 ※1 当該年の総所得金額の40%が限度額となります。	● 税制控除 控除額＝{(寄付金額※1－2000円)×40%}※2 ※1 当該年の総所得金額の40%が限度額となります。 ※2 所得税額の25%が限度額となります。
お問合せ先 (受付時間：土日祝を除く9:00～17:30)	■ 校友会未来人財育成基金に関しては ・ ・ ・ ・ ・ 立命館大学校友会事務局 075-813-8216 ■ 寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては ・ ・ ・ 立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110

日・米の生産者がともに発展できるように

食肉業務用卸商社 牛若商事株式会社 代表取締役社長

森村 義明 さん（'62法）

アメリカンビーフの魅力を伝えたい

米国農務省および米国大使館が実施する、米国農産物の日本における市場開拓活動に貢献した企業・団体を称える「米国農産物貿易の殿堂 (U.S. Agriculture Trade Hall of Fame)」の。このほど、同賞受賞者にホテル・レストラン専門食肉業務用卸商社・牛若商事株式会社代表取締役社長の森村義明さんが選出された。森村さんはアメリカンビーフの魅力を伝えるイベントを20年間にわたって毎年開催し、1969年の牛肉輸入制度の変更に伴って、ホテル向けにアメリカ産牛肉を浸透



させようと尽力してきた。そうした長年の取り組みがアメリカンビーフのイメージ向上と普及に貢献したと評価され、食肉関連企業としては初めての受賞となった。

森村 受賞を知らされた時にはこんなに大きな賞だということも知らず、あまり実感がわきませんでした。この賞は、アメリカンビーフを食文化的な立場で日本に定着させたことに対するアメリカ政府からの表彰。全食肉業者の中で弊社が初の殿堂入りになるとは、夢にも思っていませんでした。

家業の近江牛指定販売店を継ぐため、私は大学卒業後、アメリカやオーストラリア、カナダなど海外の視察を重ねてきました。当時、日本では牛肉の規格というのはほとんどないに等しいものでした。一方、アメリカでは部分肉の取引に使うガイドブックが作られるなど、すでにしっかりとした規格が整備されており、またその規格に応じることのできる豊かな供給量を備えていたのです。国産牛肉の流通に苦労していた私は、日本よりはるかに進んだアメリカの食肉環境に強い衝撃を受けました。

1969年、アメリカとの間でそれまで自由に輸入できなかった牛肉が一部解禁され、牛肉輸入にホテル枠が設けられることになりました。万博開催を翌年に控えて、外国人観光客の増加に対応するには、国産牛肉だけでは適度な価格で十分な量を用意することができなかったからです。また、万博を契機にホテルでの婚礼が一般化し、サーロインステーキやローストビーフといった欧米人が好む赤身の肉料理の需要が高まりました。均一な品質と規格を持ち、価格が安定しているという点においては、アメリカ産牛肉は牛肉の中で最も優れています。そのような特質から、ホテ



ルにはアメリカ産牛肉が最適と考え、ホテルに向けたアメリカ産牛肉の普及を目指すようになりました。当時はまだアメリカ産牛肉の品質が認知されていなかった時代。その良さを理解してもらうのは簡単ではありませんでしたが、それでも大変だと思ったことは一度もありません。京阪神のいろんなホテルに飛び込み、自信を持ってお勧めできるものを紹介するのはとても楽しいことでした。

そうした中で、ホテルやレストランにアメリカンビーフの魅力を伝えようと始めたのが「USビーフ料理ルネッサンス」。同イベントでは、著名な料理人による講演や新しい調理法の提案など、アメリカンビーフに関わる最新情報を提供しています。今では、京阪神のホテルの総料理長など関係者約700名が集まる大きなイベントとなり、今年で開催18回を迎えました。

ある時、産地を伏せてホテルのシェフに国産牛肉とアメリカ産牛肉を使った料理を試食してもらい、どちらがおいしかったか尋ねてみたところ、シェフが選んだのはアメリカ産牛肉を使った料理だったということがあります。それほどまでにアメリカンビーフは和牛にひけをとらない質を

持っている。おかげさまでホテルには大変喜んでいただくことができ、現在では、京阪神の主なホテルグループの約半数のシェアをいただいています。

国産と米国産の共存共栄を目指して

ここ20年の間には、BSE（牛海綿状脳症）や産地偽装事件などの発生もあり、食の安全への意識はますます高まっている。そんな消費者の気持ちに牛若商事はどう応えていくのだろうか。

森村 SARS（新型肺炎）、口蹄疫と続いたここ10年は、まさに「牛肉受難の年」だったと言えます。消費者の「食の安全」に対する関心が高まる中、食に携わる企業に必要なのは、何をにおいても正直であるということ。いつも正直であれば必ず消費者の信頼を得ることができると思うのです。問題が発生すれば、私たち業界側から積極的に「実

際」と「現実」を公開していく姿勢が必要です。同時に、マスメディア側には、その影響力を認識し、「実際」を知り科学的知識を持った上での正しい報道を心がけてほしいと思います。

国産かアメリカ産か、どちらが牛肉として優れているのかと比較されがちですが、それぞれに分担が違うのでどちらか一方が優秀であるとは言えません。和牛の規格はマーブリング（霜降り）を基準にして決められていますが、それは日本がしゃぶしゃぶ・すき焼きといった「スライス文化」の国だから。スライスして食べておいしいかどうかが重視されるのです。しかし食の幅が広がり、供給量が増えるにしたがって、ステーキに代表される厚切り肉も求められるようになってきました。和牛がおいしいのは厚さ5ミ

リの「焼肉」まで。厚さ1センチ以上になるステーキは、和牛だと脂っこくなくなってしまってたくさん食べられない。けれど脂肪分の少ない赤身のアメリカンビーフなら、ステーキにしてもさっぱりとして毎日でも食べ飽きません。和牛とアメリカンビーフはこれからも共存共栄できると思います。今、アメリカンビーフの特質を演出しているのは、ある意味で和牛。和牛とアメリカンビーフが互いにその特質を引き出し合えば、牛肉の全体的な消費構造を上げていくことができるはずです。

弊社の発展を支えるアメリカンビーフと、礎を築いた和牛。両方の生産者のおかげで、弊社の今があるのです。牛若商事は、日米双方の生産者がともに発展できるような流通業者でありたいと思っています。

ほんとは美味しいアメリカ牛肉

広報委員 加藤美佐子

インタビューの中で印象に残った話がある。'92年に宮崎駿監督の「紅の豚」というアニメーション映画が封切られた。ご覧になった方も多いと思う。加藤登紀子さんの歌う「さくらんぼの実る頃」という反戦歌をテーマソングにしたお洒落な映画だったが、素朴な疑問で、ハンサムではないけれどとても魅力的な主人公が「なんで豚？」と思ったものだった。豚というと「肥った豚になるよりは痩せたソクラテスになれ」という1964年東大卒業式での大河内総長の言葉が思い浮かぶ。このように日本人は一般的に豚に良くないイメージを持っているが、西洋の人たちは全く違って、豚は人間に身近な愛すべきものだという認識を持っていると森村社長は言われた。でなければ、豚がタイトルになんてなるはずがない、と私も納得した。日本人と欧米人の豚に対する思いや認識の違いは、牛肉に対しても同様にあると思う。牛や豚の肉を食料としてきた歴史の長さが、文化の違いを生み出したのだろう。

アメリカやオーストラリアの輸入肉というと、価格が安い、美味しくない、BSEが心配等、あまり良い印象がない。ほとんどの日本人は、日本の牛肉が世界一美味しいと信じているようだ。でも私は、30数年前にニューヨークのホテルで食べたステーキがあまりに美味しかったというその思い出のために、日本の牛肉が世界一だと言

うことができない。

その話をすると、それは食文化の違いによるもので、国産牛はスライスして、しゃぶしゃぶやすき焼きに用いられ、輸入肉はステーキやローストビーフに適しているというそれぞれの特性があり、等級も日本の基準はマーブリングという霜降りの具合（牛脂肪交雑基準）で決められると森村社長は言われた。小さい頃、ご馳走といえばすき焼きだった。すき焼きは、最初は美味しいけれど、しばらくすると飽きてきて、たくさんは食べられない。それは脂肪分が多いからだろう。

日本人一人当たりの牛肉の年間消費量は、アメリカやオーストラリアと比べて5分の1と圧倒的に少ない。「魚か肉かどちらがいい？」と聞かれたら、いつも迷わず「お肉」と答えるほど好きな牛肉なのに、インタビューを終えてつくづく思ったことは、牛肉のことをほとんど何も知らなかったということだった。

今、食肉をめぐる問題が多くある中で、安全な食肉を安定的に供給していく必要性もますます高まっていくだろう。長年、牛肉という食材の研究を重ねてこられた会社ならではの独自の開発商品や、アーミッシュビーフなどのナチュラル・オーガニックビーフの普及など、牛若商事の今後の展開に期待したい。

私を支えた末川博先生の言葉

中学から立命館で学び、大学進学時は迷うことなく法学部を希望した森村さん。学生時代の友人とは現在も深い交流を持ち、母校への愛情も人一倍だ。その明るく、まっすぐな気質は、立命館で過ごした日々の中で育まれたという。

森村 私が大学生だった頃は、末川博先生の黄金時代。安保闘争や政防法反対闘争が展開され、細やかな学びは可能でない時代でしたが、「社会とは何か」「権力とは何か」ということを教えてくださった方は、日本広しと言えども、末川博先生以外にそうたくさんいらっしゃったわけではありません。卒業時には、末川博先生手書きの書をいただきました。その書には『法の理念は正義であり 法の目的は平和である。だが、法の実践は社会悪とたたかう闘争である。』という勇ましい言葉が書かれています。この言葉に支えられたからこそ、私はいつも小細工なしで真正面から仕事に向かってくることができました。それが今回の表彰にもつながったのだと思っています。今、この書は我が家の家宝となっています。

立命館がブランド化したというのは実績が広く認められたことの表れであり、うれしく思います。けれど、もともと立命館はよい意味で野党的な批判精神を持つ大学。そんな立命館らしい野党精神はこれからも失わないでほし

いですね。そして、立命館がさらに高みに上るためには、現状に甘んじず、もうひと踏ん張りしなくてははいけません。学生、父母、教職員が互いに意見を出し合う伝統はもちろん、今様に言えば「ダイバーシティ構



大学卒業時に末川先生から贈られた直筆の書

想」(＝多様な人材を集め組織に集約し価値観や感性を尊び、革新の継続性を保つ)を持続していけば、よりよい立命館にすることができると期待しています。

Profile



Yoshiaki Morimura

1955年	立命館中学校卒業
1958年	立命館高等学校卒業
1962年	立命館大学法学部卒業 海外視察・修業後、家業を継承する。
1964年	牛若商事株式会社代表取締役社長就任 現在に至る

アメリカ、オーストラリアの牛肉生産者との取引を行ない、ホテル用輸入牛肉における新商品開発に実績を残す。京都市青少年団体役員を務め、趣味は旅行、読書、音楽鑑賞、ゴルフマン。
京都経済同友会会員、京都市中央倫理法人会員、フランス・エスコフィエ会員、京都ロイヤルライオンズクラブ会員、近畿食肉業務用卸協同組合専務理事。

厚生労働大臣賞2年連続受賞（2005年、2006年）
京都府知事賞（生活衛生功劳）受賞（2006年、2009年）
京都市長賞（食品衛生優良施設表彰）3年連続受賞（2007年、2008年、2009年）
『アメリカ農産物貿易の殿堂入り』受賞（2012年）

遠く離れても 故郷を支えたい

東日本大震災で被災した福島県出身の遠藤雅彦さん（'07経済）は、現在自らも大阪に避難しながら、当事者として周囲と協力し、関西に避難している被災者の抱える問題解決を行なう『関西県外避難者の会 福島フォーラム』の活動に取り組んでいます。

故郷のいわき市豊間地区では、住宅600戸のうち500戸が津波で流失。すぐ目の前が海という実家も、門柱だけを残してすべて流失しました。揺れが治まってすぐ、父親の形見と財布だけをバッグに放り込んで家族みんなで避難を始め、避難所から各地へ情報を得て避難を続け、当時計画停電が行なわれていた東京に着きました。避難情報を伝えながら逃げても、周囲にはほとんど福島の現状を信じてもらえませんでした。次にどこへ行くのか家族で話し合い、最終的に家族と離れて一人で大阪へ避難することに。避難でたどり着いた関西は食べ物にあふれ、その何事もなかったような普段通りの街の姿と、被災地の当時の状況とのギャップは衝撃的でした。着の身着のままで飛び出さなければならなかった避難者の状況など被災地から離れると理解されるはずもなく、ひどい扱いを受けることも度々。離れていると被災地の現実がわからない。だったら自分の経験を伝える活動をしようと、知り合いのギャラリーや大学などで自分の体験を伝え始めたのです。そうした中で同じ避難者の方たちと故郷を助ける取り組みをしようと、2011年9月、福島フォーラムを立ち上げました。

フォーラムの主な活動は、交流会の実施や相談業務といった関西に避難している被災者のネットワーク作りや、放射能の影響に関する健康不安を抱えた方が安心して相談できる医師の



事務局員を務める坪倉正佳さん（'09政策、写真右）と。遠藤さんが大阪に避難してきた際、受け入れ先となったのが坪倉さんだった。



関西県外避難者の会
福島フォーラム 代表
遠藤雅彦 さん（'07経済）
Masahiko Endo

Profile

福島県いわき市出身。福島県地域づくり総合支援事業認可『関西県外避難者の会 福島フォーラム』を設立、代表を務める。

紹介、職業訓練など避難者の自立のサポート。被災地を撮影した写真展や、震災体験を伝える講演会の開催など、震災の記憶を伝えることで被災地とつながる活動も行なっています。福島フォーラムは、当事者である避難者とそれを支える行政や地域の支援者らのネットワークが、被災地でいま困っている方々とながり、互いの問題を解決する力が結節する場、ジャンクションでありたいと考えています。今後は、社会貢献をしながら成り立つソーシャルビジネスを生み出し、避難者の自立や被災地の復興を応援できる活動を目指しています。

現在、大阪府における福島県からの避難者数は確認できるだけで1,000名超、関西には3,000名以上避難していると言われています。私には帰る町がありません。



遠藤さんの実家（津波後）

地域は流されてしまった。けれど復興しようとしている地元があり、困っている人がいる。それならば自分は、先輩・後輩、恩師や友人のつながりを生かせば遠く離れても故郷を支えることができるのではないかと思ったのがフォーラムの原点でした。多くの学友・恩師に助けられました。

福島フォーラムの活動は、関西に来て、いろんな方と出会ったからこそ生みだすことができました。被災した現地と被災した方は、避難先かどうかに関りなくまだまだ震災のただ中にあります。震災を風化させないために、福島フォーラムは避難者と故郷の今を伝え、支えて、次の世代のために役立つような機関でありたいと思います。いまだ苦しみが残る故郷と仲間を見捨てることはできない。私の原動力はそこにあります。今を改めて生きようという人たちを、私たちが見捨ててはいけません。

立命館大学校友会東日本大震災義援金について

2012年12月1日～2013年1月31日に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

● 団体・グループ・企業（50音順）

立命館大学浜松校友会

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

合計 12,731,284円 2013年1月31日現在

（ 個人 4,140名 7,942,158円 ）
（ 団体・グループ 175件 4,789,126円 ）

東日本大震災復興支援特別委員会の決定に基づき、以下の通り義援金の第三次配分を行なうこととしました。

●時期：2013年1月23日送金完了

●金額：6,200,000円

●配分先と内訳：岩手県校友会1,400,000円、宮城県校友会2,400,000円、福島県校友会2,400,000円

立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業

義援金の受付終了と支援金の募集開始のお知らせ

義援金の受付は**2013年7月31日**をもって終了します。**2013年8月1日**からは**支援金**の募集を開始します。

東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

立命館大学校友会は震災直後の2011年3月24日から、被災された校友の方々に対するお見舞金とすることを目的とした義援金の募集に取り組んでまいりました。

皆様からお寄せいただいた義援金は、12,731,284円（2013年1月31日現在）にのぼっております。

お預かりした義援金は、特に被害の大きかった東北三県（岩手、宮城、福島）校友会を通じて三回に渡って、被災された校友会の方々にお届けしてまいりました。皆様からの温かいご支援に感謝いたします。

震災発生から二年が経過し、被災地や被災した個人を取り巻く状況が変化してきています。

復興支援特別委員会は今後の復興支援事業の在り方について東北三県校友会と協議するなかで、個人へのお見舞金とすることを目的とした義援金の受付は終了し、被災地校友会による復興活動をサポートすることを目的とした支援金の募集をあらたに開始することといたしました。

現地校友会による復興活動を応援するために、引き続き校友の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りたく存じます。

支援金の募集開始は、2013年8月1日からといたします。

受付口座などの詳細については追って、本誌（会報「りつめい」）、校友会HP・復興支援情報サイトにてお知らせいたします。

海の向こうの立命人

電子部品商社 NCH Technologies(S)Pte Ltd 代表

長末和則さん(69 文)

世界に広がる校友たちの活躍の舞台。『海の向こうの立命人』では、各国で活躍する校友を紹介します。今回は、シンガポールで活躍する電子部品商社「NCH Technologies(S)Pte Ltd」の長末和則さんにインタビューし、シンガポールで働くこと、暮らすことについてお聞きました。



PROFILE
Kazunori NAGASUE

北九州市生まれ。ローム株式会社を退職後、電子部品を調達し、主にASEAN地域の電器メーカーに供給する電子部品商社「NCH Technologies(S)Pte Ltd」を設立。シンガポール在住は累計 23 年。2005 年よりシンガポール校友会会長。「学生時代も含め、数多くの良き人との出会いが私の唯一の財産」。



From Singapore

新しい気風にあふれた複合民族国家

シンガポールは、開放的で新しい気風にあふれ、外国からきた人にもとても働きやすい環境です。女性の社会進出は日本よりかなり進んでおり、共働きが一般的で、女性の管理職も少なくありません。転職率が高いのが悩みですが、この国では転職は悪いことではないので、誰かが転職しても、その転職先企業と取引が始まるなどむしろ新しい仕事が生まれる可能性がある。それは日本と違う感覚で面白いですね。

国民の 75% を占める中華系を筆頭に、マレー系、インド系など複数の住民から成る「複合民族国家」であるシンガポール。他民族を敬遠する部分も見られ、例えば職場で、中国系多数の中にインド系が加わると摩擦が起きるといってもありますが、全体としては仲良く生活しています。諸外国の中では非常に住みやすい国だと思いますが、日本人にとっては文化の違いで戸惑うことも少なくありません。

シンガポールの校友たち

シンガポールにいる校友は、日本の親会社から出向して来た人、シンガポールへ仕事を探しに来て現地採用で働いている人、日本へ留学していたシンガポール人などさまざま。男性は 30 ～ 40 代、女性は 20 ～ 30 代が中心で、総じてまじめな方が多く、地位や所属先などにこだわらずおおらかに他人と交わる傾向が見受けられます。

海外の校友会の難しさは、やはり継承していくということ。長くこちらに滞在して、引き継いでくれる人をつないでいくのが大変です。シンガポールは登録上の校友数は多くても、実際の校友会活動に参加するのは一部分のため、まだまだ活動を盛り上げる工夫が必要です。日本に

帰国された方の中にも「シンガポールに校友会があってよかった」と言ってくださる方がたくさんいらっしゃいます。初めての土地に来てまだ間もなく心細い時に、校友会があることが校友の皆さんの安心につながると思うと、頑張って継続していかなければと思います。

国際人に必要な「母国の理解」

立命館大学だけでなく多くの大学について言えることですが、近年、その大学ならではの「校風」というものが薄くなってきているように感じます。どこの大学を卒業してもみんな同じような人間では、少し寂しい。「立命館の人は礼儀正しい」、「立命館の人は思いやりが深い」といった、学問を離れたところで立命館の校友であることを誇りに思えるような大学になってほしいですね。

本当の国際人になるためには、海外のことを熟知するだけでなく、日本のことをよく理解することが欠かせません。先日、若い方々に「少年老い易く学成り難し」と言うと、それは何ですかと質問されて驚いたことがあります。やはり教養を高めるということが国際舞台での活躍につながるのではないのでしょうか。

校友会 DATA

シンガポール校友会

会員数約 50 名
2、3 カ月に 1 度懇親会を開催



校友会ネットワーク

2012 年 11 月下旬～ 2013 年 2 月中旬に行なわれた各団体の行事です(判明分)

詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

ALUMNI ASSOCIATION NETWORK

都道府県校友会／海外校友会

11/24

佐賀県校友会総会
(40 名・ホテルニューオータニ佐賀)



佐賀県校友会

11/25

広島県東部校友会総会
(70 名・福山ニューキャッスルホテル)

11/30

東北道校友会総会
(40 名・帯広ワシントンホテル)

12/8

東京校友会総会
(130 名・アンフェリシオン)



東京校友会

1/13

バンクーバー校友会総会
(30 名・Guu Garden)

1/20

マレーシア校友会総会
(20 名・クアラルンプール日本人会会議室)

1/26

北海道校友会総会
(約 80 名・ルネッサンスサッポロホテル)

1/26

岩手県校友会新年会
(17 名・きのえね本店)



バンクーバー校友会

2/10

山形県校友会総会
(22 名・ホテルキャッスル)

2/16

富山県校友会新年会
(44 名・カナルパークホテル富山)

2/16

奈良県校友会新年会
(48 名・料理旅館「尾川」)



マレーシア校友会

地域校友会

11/24

広島県西部地区校友会総会
(20 名・宮島コーラルホテル)

12/1

愛媛県校友会今治支部総会
(21 名・笹)



広島県西部地区校友会

12/16

兵庫県校友会西宮支部例会
(19 名・日本盛「煉瓦館」)

1/19

愛媛県校友会松山支部総会
(40 名・伊予鉄会館 5F)

1/26

北朋会総会
(30 名・札幌ガーデンパレス)



北朋会

2/2

浜松会新年会
(約 30 名・ホテルコンコルド浜松)

2/2

姫路立命会総会
(約 60 名・まねき食品本社)

2/3

湘南クラブ新年会
(24 名・レストランパウゼ)

2/16

宮崎県校友会県北校友会
(22 名・ホテルメリージュ)

職域校友会

11/30

東芝立命会忘年会
(34 名・とくり本店)

1/30

金沢市役所「立林会」総会
(12 名・食彩赤まんま)

2/13

茨木市役所立命館大学校友会総会
(27 名・木曽路)



茨木市役所立命館大学校友会

学部・学科校友会

12/15

産業社会学部校友会総会
(約 80 名・衣笠キャンパス以学館)

1/18

建設会三重県支部総会
(30 名・神湯館)

1/19

建立会総会
(150 名・ヴィアーレ大阪)



建立会

サークルOB・OG会

12/15

体育会男子ソフトボール部OB会総会
(35 名・酒呑童子)

2/17

写真研究会OB会総会
(25 名・美濃吉四条河原町店)



体育会男子ソフトボール部OB会



写真研究会OB会

その他の会

11/23

衣笠寮友会総会
(20 名・京都タワーホテル)

1/18

経済学部昭和 28 年卒文庭会
(11 名・京新山)

1/19

北九州校友会選抜女子駅伝応援企画
(20 名・北九州市内)



北九州校友会

オール立命館校友大会 2013in 京都 10月26日(土)に開催!

会 場 ホテルグランヴィア京都
および 京都駅ビル（駅前広場、室町小路広場）

2013年のオール立命館校友大会は京都で開催されます。
今回の大会の開催に向けては、本部総務委員会のもとに組織された実行委員会を中心となって準備を進めています。
大会についての情報は次号253号(6月下旬発行)および254号(9月下旬発行)、立命館大学校友会ホームページ特設サイト(8月頃に公開予定)にて順次お知らせいたしますので、お楽しみに。
みなさん、今年は京都でお会いしましょう!



■ 昨年の校友大会の様子

リコネクト関西 先輩訪問企画「菊乃井&高台寺ツアー」が開催されました!

2013年2月17日(日)、京都市内で、リコネクト関西の「菊乃井&高台寺ツアー」が開催された。若手校友が社会で活躍する先輩校友を訪問し、社会勉強や自己研鑽につなげることを目的として行なわれ、20名定員の枠に約100名が応募する若手校友の関心の高さがうかがえる企画となった。企画では、立命館・立命館大学校友会発祥の地である「京都」にスポットをあて、老舗料亭「菊乃井」の村田吉弘主人(‘74産社)と、京都校友会副会長の後藤典生高台寺執事・圓徳院閑栖住職(‘72法)を訪ねた。

参加者は、八坂神社や円山公園を散策して「菊乃井」に。「ミシュランガイド京都・大阪・神戸・奈良 2013」でも最高の三つ星評価を得た料亭のおもてなしを受け、村田主人の配慮で、かつて伊藤博文初代内閣総理大臣も利用した「リビングミュージアム」となっている部屋への案内を受けた。その後、日本料理を世界無形文化遺産とする活動や日本料理を取り巻く国内外の現状、また日本料理の海外展開などについて村田主人から講演が行なわれ、参加者がベンを走らせる姿が目立った。講演の後には、趣向が凝ら

された料理の数々を、込められた意味や調理方法の解説とともにゆっくりと満喫し、普段では味わえない一時を過ごした。
続いて一行は「高台寺」に移動し、後藤住職を訪問。普段は入ることのできない茶室を見学した後、後藤住職より日本文化に関する話や、豊臣秀吉とねねに関する様々なエピソードが語られた。若き日の秀吉が努力家であった点や、相手の気持ちを理解し、自らのことのように大事にしたことに触れ、今を一生懸命に生きることや、物事の本質(心)は残しつつ新しいものを吸収していくことの肝要さなど多岐にわたるメッセージが伝えられ、参加者は熱心に聞き入った。通常見ることのできない特別スペースの見学の連続、そして後藤住職からの詳細な解説という貴重な体験に参加者の歓声が上がっていた。
今後もリコネクト関西では、同様の趣旨の企画を開催することを検討している。



2012年度 全国都道府県校友会代表者会議が開催されました!

2013年2月23日(土)、立命館大学衣笠キャンパスにおいて「2012年度 全国都道府県校友会代表者会議」が開催された。当日は、全国52の都道府県校友会代表者や、校友会三役、常任幹事が出席し、総勢約200名での開催となった。

第一部では、冒頭、山中諄校友会長(‘65経済)から開会の挨拶があり、事務局より校友会未来人財育成基金の募集推進に関する説明のほか、5項目の連絡があった。続いて、辻 寛校友会東日本大震災復興支援特別委員会委員長(‘62法)より、校友会震災復興事業に関する御礼とお礼があった後、川口清史立命館総長より祝辞が述べられた。第二部では、「次世代へ校友会を『繋ぐ』ために」と題して活動事例クロストークが展開され、小野守通新潟県校友会会長(‘69経営)が『オール立命館校友大会2012in新潟』の開催に向けた取り組みについて、また馬場依奈美広島県東部校友会幹事(‘01法)が、自身が立ち上げた東日本大震災の復興を支援する『てごうし隊』の活動と、それを

支える地元校友会の取り組みについて語った。コーディネーター前迫栄二郎鹿児島県校友会副会長(‘77経営)のユーモアあふれる司会進行に導かれ、和やかな雰囲気の中、トークは終了。第三部では、クロストークをヒントにグループに分かれて意見交換会が行なわれ、各校友会の特徴的な活動の紹介や、抱えている課題の相談、それに対するアドバイスなど、活発に意見が飛び交った。意見交換会終了後は会場を移し、参加者一同懇親会を楽しんだ。



初のブロック開催!「九州女子会」が開かれました

2013年1月19日(土)、福岡県博多市のソラリア西鉄ホテルで「九州女子会」が開催された。ブロックとして開催される女性校友の集いは全国でも初めての試みで、北九州、長崎、熊本、大分、鹿児島各校友会から15名が集まった。

会は、発起人の米本直美熊本県校友会副会長(‘83文)と、開催までを支えた初村雅敬北九州校友会幹事長(‘78経済)の挨拶から正午にスタート。普段より都道府県レベルを越えて交流のある九州・沖縄ブロックならではの打ち解けた雰囲気、ランチを囲んで



和やかな歓談が繰り広げられた。その後、地元福岡の茶園を拠点に活動する日本茶インストラクターの今村由美さん(‘04法)による「おいしいお茶の入れ方」のデモンストレーションが

あり、学んだ手順にならって参加者も実際に挑戦。お茶の基礎知識や九州にまつわるお茶の話など、日常でも役立つ知識に興味深く耳を傾けながら、ゆったりと丁寧に入れた日本茶を味わった。

会の途中には、清家邦敏福岡県校友会会長(‘61経済)も開催を祝って駆けつけるなど、各所より期待が集まる様子がうかがわれた。肩の凝らない内容で交流が広がったことに「楽しかった」「充実していた」と口にする参加者も多く、この盛り上がり発展させるべく、初夏を目処に次回の開催を目指すこととなった。



お知らせ

立命館大学校歌、カラオケ配信スタート!!!

母校・立命館の校歌がカラオケ配信されることになりました。
2013年4月第1週頃より、全国の通信カラオケ「DAM」導入店舗でお楽しみいただけます(リクエスト番号:5091-26立命館大学校歌)。
また、他のカラオケメーカーからも配信されるように交渉中です。
詳しくは、次号校友会報『りつめい』でお知らせします。お楽しみに!

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2013年2月25日現在

校友会本部役員			
会 長	山中 諄	’65経済	南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO
副会長	布垣 豊	’61法	京都中央信用金庫理事長
	西村 隆	’63法	前びわ湖放送(株)代表取締役社長
	飛鳥井雅和	’64法	(有) ASUKAI企画取締役
	高崎 秀夫	’67法	(株) 京都銀行代表取締役頭取
	住野 公一	’70経済	(株) オートバックスセブン相談役
	村上 健治	’70産社	ダイワラクダ工業(株)・大和物流(株)代表取締役会長
副会長	福元 寅典	’72経済	前(株) 南日本新聞社専務取締役
	松村 勝弘	’72院経営	立命館大学名誉教授
	林 幸雄	’73産社	(株) 電広エイジェンシー代表取締役社長
	佐藤友美子	’75文	サントリー文化財団上席研究フェロー
監 事	佐竹 力総	’70法	(株) 美濃吉代表取締役社長
	伊藤 昇	’71法	学校法人立命館 立命館百年史編纂室担当部長 立命館大学 大学行政研究・研修センター副センター長
	鈴木 治一	’91法	弁護士

都道府県校友会			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	廣長 明夫	006－0805 札幌市手稲区新発寒五条1－8－1 中川 均 様	011－251－3373
立命館大学東北北海道校友会	合田 賢二	080－0010 帯広市大通南21－18－2 勇昇印刷 本田公一 様	0155－23－7414
立命館大学青森県校友会	鎌田 学而	030－0803 青森市安方1－5－17 船水重利 様	017－722－2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020－0802 盛岡市つつじが丘7－3 酒井博忠 様	019－654－3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984－0831 仙台市若林区沖野4－5－20 柏原 晋 様	022－286－9928
立命館大学秋田県校友会	今野 謙	010－1436 秋田市大住2－4－19 今野 謙 様	018－831－1250
立命館大学山形県校友会	三浦 孝治	990－2324 山形市青田南8－2 三浦孝治 様	023－624－0864
立命館大学福島県校友会	桑原 勇健	970－8026 いわき市平字六間門15 三村智春 様	0246－24－1386
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310－0903 水戸市堀町2247－8 木村幸夫 様	029－252－8401
立命館大学栃木県校友会	笠原 朋雄	329－1104 宇都宮市下岡本町3792－4 笠原朋雄 様	028－673－1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370－3521 高崎市棟高町1802－409 石橋 博 様	027－372－8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	104－0041 東京都中央区新富1－16－8 エクセルアート(株)内 榎本哲郎 様	03－3552－2201
立命館大学千葉県校友会	原 宏亮	276－0031 八千代市八千代台北15－19－28 原 宏亮 様	047－485－8998
立命館大学東京校友会	住野 公一	100－0005 千代田区丸の内1－7－12 サピアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03－5224－8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	230－0071 横浜市鶴見区駒岡1－10－E－304 社労士のぐちくにを事務所 野口邦夫 様	080－6721－0071
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950－0982 新潟市中央区堀之内南2－15－1 小畑正敏 様	025－247－2478
立命館大学富山県校友会	田村 哲朗	939－8212 富山市掛尾町198 福田 豊 様	076－425－3192
立命館大学石川県校友会	加納 裕	921－8103 金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	076－243－5806
立命館大学福井県校友会	品谷 義雄	910－8510 福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉協議会 専務理事 品谷義雄 様	0776－24－2339
立命館大学山梨県校友会	野口 忠蔵	400－0024 甲府市北口1－5－26 ラブリハイツ707 川崎 毅 様	055－251－0428
立命館大学長野県校友会	大槻 四郎	390－0822 松本市神田1－28－2 降幡信秀 様	0263－25－0279
立命館大学岐阜県校友会	鷺見 泰裕	503－0807 大垣市今宿4－32－1 (株) 大垣麵房内 房野麻紀子 様	0584－74－3036
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	420－0882 静岡市葵区安東2丁目8－5 佐藤友清 様	054－245－5612
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461－0004 名古屋市中区葵3－15－31 住友生命千種ニュータワービル14F (株) 電広エイジェンシー 加藤智大 様	(FAX) 052－937－1250
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516－0012 伊勢市通町448－1 (有) 勝原産業 勝原誠一 様	0596－25－9209
立命館大学滋賀県校友会	柊 勝次	520－8686 大津市浜町1－38 (株) 滋賀銀行 システム部 高津知仁 様	077－521－2440
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604－8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075－813－8216
立命館大学大阪校友会	村上 健治	530－0018 大阪市北区小松原町2－4 大阪富国生命ビル14階 立命館大阪キャンパス	06－6360－4895
立命館大学兵庫県校友会	辻 寛	655－0854 神戸市垂水区桃山台5丁目7－2 辻 寛 様	090－9541－4696
立命館大学奈良県校友会	渡邊 申孝	633－0053 桜井市大字谷125－13 土田次郎 様	0744－43－5043
立命館大学和歌山県校友会	村上 長保	640－8222 和歌山市湊本町1－10－1－405 和田好史 様	0734－32－7039

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680－0874 鳥取市叶122 西垣ビル (株) アド・ネットワーク内 西垣佳則 様	0857－30－0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683－0037 米子市昭和町25－1 サンイン技術コンサルタント(株)内 大野木昭夫 様	0859－32－3308
立命館大学島根県校友会	石倉 徳章	690－0851 松江市堂形町737－6 田中安信 様	0852－27－2903
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700－0903 岡山市北区幸町7－14 天水 幸町店 守屋博司 様	086－232－0945
立命館大学広島県校友会	伊藤 利彦	731－5115 広島市佐伯区八幡東2丁目28－27 田中龍次 様	082－928－0132
立命館大学広島県東部校友会	岩村 寿夫	720－0808 福山市昭和町6－1 福山電業(株) 島田 斉 様	084－922－6361
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	753－0043 山口市宮島町7－21 中村史朗 様	083－924－0283
立命館大学宇部小野田校友会	江本 郁夫	755－0047 宇部市島1－4－55 宇部市教育委員会学校安心支援室 森島正信 様	0836－29－4725
立命館大学徳島県校友会	鎌田 啓三	770－0874 徳島市南沖洲2－7－33 鎌田啓三 様	088－664－2344
立命館大学香川県校友会	松浦 康隆	760－0071 高松市藤塚町2－12－15－404 穴吹 学 様	087－862－3565
立命館大学愛媛県校友会	岡本 正志	791－8022 松山市美沢1－1－19 石田二郎 様	089－925－2547
立命館大学高知県校友会	森山 泰宏	781－2110 吾川郡いの町4016－1 平井雅章 様	088－893－3410
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816－0092 福岡市博多区東那珂3－6－62 大成印刷(株) 清家邦敏 様	092－472－2621
立命館大学北九州校友会	藤田 卓也	804－0025 北九州市戸畑区福柳木2－3－11 初村雅敬 様	093－882－9240
立命館大学佐賀県校友会	白武 悟	842－0014 神崎市神崎町姉川12215 伊香賀俊介 様	0952－53－4243
立命館大学長崎県校友会	横山 正人	850－0037 長崎市金屋町4－5 (株) 長崎ガードシステム内 山口孝司 様	095－825－3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860－0012 熊本市中央区紺屋今町9－6 熊本紺屋今町ビル8階 公益財団法人地方経済総合研究所内 飯田俊之 様	096－326－8625
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870－0128 大分市森108－83 佐藤昌彦 様	097－521－5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880－0926 宮崎市月見ヶ丘5－1－1 フォンテ月見ヶ丘三番館202 南 英輝 様	0985－44－1975
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890－0053 鹿児島市中央町16－9 川窪宏一 様	099－253－3336
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900－0005 那覇市天久2－28－23－203 島袋 健 様	090－7587－0858

学部校友会			
衣笠キャンパス 603－8577 京都市北区等持院北町56－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	赤木 文生	法学部事務室内	075－465－8175
立命館大学文学部校友会	中小路宗隆	文学部事務室内	075－465－8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室内	075－465－8184
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務室内	075－465－1211
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務室内	075－465－7877
立命館大学映像学部同窓会	大矢 侑輝	映像学部事務室内	075－465－1990
びわこ・くさつキャンパス 525－8577 滋賀県草津市野路東1－1－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務室内	077－561－3940
立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室内	077－561－3941
立命館大学数物会	河野 俊彦	理工学部数学物理学系事務室内	(FAX) 077－502－2466
立命化友会 (旧 立命館大学応化会)	北尾 舒彦	生命科学部・薬学部 イーストウィング6F 事務室内	077－561－2658
立命電友会	瀬見 英利	理工学部電子システム系事務室内	077－561－2662
立命館大学機友会	大内 章	理工学部機械システム系事務室内	077－561－2664
立命館大学建設会	中尾 恵昭	理工学部環境都市系事務室内	077－561－4911
立命館大学情報会	上嶋 明	情報理工学部事務室内	077－561－5295

海外校友会				
(順不同)				
立命館大学北カリフォルニア校友会 立命館大学ロスアンジェルス校友会 立命館テキサス会 立命館大学シカゴ校友会 立命館ニューヨーク校友会	立命館大学バンクーバー校友会 立命館大学英国校友会 立命館大学ドイツ校友会 立命館大学インド校友会 立命館大学インドネシア校友会	立命館サイゴン校友会 立命館大学ハノイ校友会 立命館大学タイ王国校友会 立命館大学シンガポール校友会 立命館大学マレーシア校友会	在韓立命館大学同門会 立命館大学台湾校友会 立命館大学香港校友会 立命館大学北京校友会 立命館大学上海校友会	立命館大学広州校友会 立命館大学モンゴル校友会 立命館大学シドニー校友会



立命館はご卒業後もあなたのそばに

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
各種証明書の申し込みについて	◆法学部事務室 (法学部／法学研究科)	TEL.075－465－8175
	◆文学部事務室 (文学部／文学研究科)	TEL.075－465－8187
	◆産業社会学部事務室 (産業社会学部／社会学研究科)	TEL.075－465－8184
	◆国際関係学部事務室 (国際関係学部／国際関係研究科)	TEL.075－465－1211
	◆政策科学部事務室 (政策科学部／政策科学研究科)	TEL.075－465－7877
	◆映像学部事務室 (映像学部)	TEL.075－465－1990
	◆独立研究科事務室 (応用人間科学研究科)	TEL.075－465－8375
	(先端総合学術研究科)	TEL.075－465－8348
	(言語教育情報研究科)	TEL.075－465－8363
	◆経済学部事務室 (経済学部／経済学研究科)	TEL.077－561－3940
	◆経営学部事務室 (経営学部／経営学研究科)	TEL.077－561－3941
	◆スポーツ健康科学部事務室 (スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学研究科)	TEL.077－561－3760
	◆理工学部事務室 (理工学部／理工学研究科)	TEL.077－561－2625
	◆情報理工学部事務室 (情報理工学部／情報理工学研究科)	TEL.077－561－5202
	◆生命科学部・薬学部事務室 (生命科学部／生命科学研究科・薬学部)	TEL.077－561－5021
	◆テクノロジー・マネジメント研究科事務室 (テクノロジー・マネジメント研究科)	TEL.077－561－3421
図書館の利用	◆プロフェッショナルスクール事務室 (法務研究科)	TEL.075－813－8272
	(経営管理研究科)	TEL.075－813－8273
	(公務研究科)	TEL.075－813－8274
図書館の利用	◆衣笠図書館	TEL.075－465－8217
	◆メディアセンター（BKC）	TEL.077－561－2634
	◆メディアライブラリー（BKC）	TEL.077－561－3943
	◆朱雀リサーチライブラリー	TEL.075－813－8257
図書館の利用	http://www.ritsumei.ac.jp/library/	
図書館の利用	◆立命館東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階	TEL.03－5224－8188
	http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html	
図書館の利用	◆立命館大阪梅田キャンパス 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階	TEL.06－6360－4895
	(大阪オフィス)	TEL.06－6360－4892
	(社会人大学院関係)	TEL.06－6360－4893
	(就職活動関係)	TEL.06－6360－4893
図書館の利用	http://www.ritsumei.jp/osaka_office/index_j.html	

卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込みください。直接お越しの際は、必ず身分証明書（運転免許証・健康保険証等）をご持参ください。郵送でお申し込みの際は、下記の必要事項を明記し、『発行手数料分の郵便為替（定額小為替）または郵便切手』と『返信用封筒（切手を貼り、送り先を明記）』、身分証明書のコピーを同封のうえ、お送りください。なお、ご不明な点がございましたら、各学部事務室までお問い合わせください。

【必要事項】

- 氏名・フリガナ（英文申請時はローマ字も）
- 卒業年月
- 卒業学部・学科・専攻
- 生年月日
- 郵送先（現住所）
- 連絡先電話番号（昼間に連絡がとれる電話番号）

●利用目的（簡単に）

●申請される証明書の種類と枚数、和文／英文の別、厳封の有無
（「学力に関する証明書（教員免許授与申請用）」を申請される場合は、本籍地と証明書の提出先もご記入ください）

- 手数料の支払い方法と金額（「郵便切手600円分」など）
- 身分証明書（コピー）の種類

【手数料】

- 卒業（修了）証明書、成績証明書、学力に関する証明書（教員免許授与申請用）、在学期間証明書（休学期間を除く）、在籍期間証明書（休学期間を含む）：1通300円
※英文証明書も同額です

【返信用封筒・郵送料の例】

- 証明書3通まで、厳封なしの場合：長型3号封筒に、切手80円を貼付
- 証明書3通まで、厳封ありの場合：角型2号封筒に、切手120円を貼付

そのほかご不明な点は、ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせください。

- 利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館1階インフォメーションカウンター、メディアセンター1階サービスカウンター、メディアライブラリー2階サービスカウンター、朱雀リサーチライブラリーカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませください（土日に申請いただいた場合は、後日の発行となることがあります）。

- 申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。
- 閉館日・閉館時間は、ホームページにてご確認ください、お問い合わせください。

【申請にあたってご用意いただくもの】

- 次のいずれかの書類の原本（現住所の確認をさせていただきます）
運転免許証・健康保険証・住民票の写し（発行後1カ月以内）
- 利用申請書（図書館所定用紙）

東京キャンパスは、企業の本社が集まる丸の内のJR東京駅日本橋口出口に直結するサピアタワー8階にあります。東京キャンパスでは、首都圏における本学学生への就職活動の支援や校友会活動の支援などを行なっています。また校友に限らず社会人を対象にした公開講座も開講しています。詳しくはHPをご覧ください。

※来訪には入館手続きが必要となりますので、お越しの際には事前にご連絡ください。

※校友への各種証明書発行はしておりません。

立命館大阪梅田キャンパスは、社会人大学院（MBA、MOT、言語教育情報研究科、法務研究科）、一般公開講座を開講し、学生の就職活動支援や国際学術交流（立命館孔子学院大阪学堂および同済大学教育研究室を付設）などの事業を行なっています。さらに、立命館大学大阪校友会・父母教育後援会の皆様への対応、入試情報の提供なども行なっています。

なお、2013年3月11日から同ビル14階を増床し、主に就職活動支援を強化しています。

※校友への各種証明書発行はしておりません。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
会館の利用	◆末川記念会館 TEL.075－465－8234 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、故白川静名誉教授の研究成果を広く公開している「白川静記念東洋文字文化研究所」、ホール、会議室（事前申込要）、レストランなどがあり、立命館土曜講座も行なっています。研究会や会議にご利用ください。
大学院への進学	◆各研究科の事務室 [TEL.P.20参照] または ◆衣笠大学院課 TEL.075－465－8195 http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、働きながらでも学びやすいシステムの導入に努めています。研究科ごとに多様な入試方式を用意しておりますので、大学院への進学に興味のある方は各研究科の事務室までお問い合わせください。また、入試説明会等も開催しております。詳細は左記URLよりご確認ください。
エクステンションセンターの利用	◆エクステンションセンター [衣笠] TEL.075－465－8297 [BKC] TEL.077－561－2853 [朱雀] TEL.075－813－8285 http://www.ritsumei.jp/extention/index_j.html	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター校友特別受講制度】 ●制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ●対象講座 法曹（司法試験）、公認会計士、公務員、弁理士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。 ●利用方法 エクステンションセンター窓口へお申し込みください。申込書はHPからダウンロードできます。 ●提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/
	[衣笠] 国際平和ミュージアムロビー（1階および2階） ◆教育文化事業課（国際平和ミュージアム1階） http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火～日曜日 9:30～16:30 （休館：月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか） ●2階ロビーにお茶の自販機設置（1階ロビーでの飲食はご遠慮ください） ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご見学いただけます。 ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出ください。 無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
	[BKC] コアステーション3階ラウンジ ◆コアステーション1階キャンパス事務課	●月～土曜日 9:00～20:00（休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間） ●コーヒー等の自販機設置 ●ご用の際は、コアステーション1階BKCキャンパス事務課へお越しください。（執務時間：月～金曜日 9:00～17:30） ●利用予約も可能です（但し、現地での予約受付に限りです）。
	[朱雀] 朱雀キャンパス：6階校友ロビー ◆校友会事務局（朱雀キャンパス6階）	●月～金曜日 9:00～17:30（休室：土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間） ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけください。 ●校友会事務局にて接遇いたします。コーヒー自販機設置。
校友会サロンの利用	○いずれも事前申し込みは不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではないことを何卒ご理解ください。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません（おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております）。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問い合わせ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡ください。 ○アクセスマップ http://www.ritsumei.jp/accessmap/index_j.html 立命館大学校友会事務局（校友・父母課） http://alumni.ritsumei.jp/ TEL.075－813－8216 E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp	

大 学 の 業 務 日 時	
通常の業務日時	月～金曜日 9時～17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休館日は別途定めます。

住 所 等 の 変 更 ご 連 絡 先
立命館大学校友会事務局（校友・父母課） TEL.075－813－8216 FAX.075－813－8217 【住所変更専用フリーダイヤル】 TEL.0120－252－094 FAX.0120－252－095 【校友会ホームページからも変更可能です】 https://alumni-ritsumei.jp/form/change.html

立命館のゼミナール訪問

衣笠

坂田ゼミ（産業社会学部）

📖 坂田ゼミ：産業社会学部 坂田謙司 教授

📖 ゼミテーマ：ラジオを通じて社会の課題や問題を考える

坂田ゼミの共通テーマは「ラジオ」。震災など災害を機にその価値を見出され、しばらく経つと再び影を潜め、それでもやはりなくなることはないメディア「ラジオ」。ラジオを通じて見えてくるものとは？—この問いから社会を考察しています。

Interview

多様な視点で見た「ラジオ」から社会をとらえる

ラジオというメディアの特徴は、なんと言っても「音と声のみ」ということ。その不自由さの中で人間はなにかを感じ取るのです。また、人と人をつなぐ安心感を与えるのもラジオならではの。つながりやコミュニティというものが失われつつある今だからこそ、音のメディアであるラジオが与えられるものがあるとも言えるのです。

多様なメディアがあふれている今、なぜラジオがなくならないのでしょうか。メディアが残る理由は必要性だけではありません。戦後、日本の農村には、国の放送制度とは別に、農村独自の地域メディアが生み出されました。80年代になると様々な新しいメディアが導入されましたが、結局それらは広がらず、一方でコミュニティ放送局というものがある現在も少しずつ増え続けています。その違いは、地域の人々の思いがメディアに乗せられているかどうか。ではラジオに人々は何を求めているのか。それを問い直すことで社会の姿が浮かび上がってくるのです。ラジオを聴く人が求めているものや、聴かない人の理由など、様々な角度からラジオを見れば、例えばこれからの高齢社会につながるヒントといったものも見出せるかもしれません。

実践しながら学びを深めて身につける「総合的思考力」

このゼミでは、学生はゼミに入る時に卒業論文の作成を約束することが必須。2回生時のプレゼミ期間は、ゼミ生は毎週の課題や春休みに実

施されるラジオ局調査の準備などに取り組みます。3回生になってゼミが始まると、研究と同時にラジオ番組の制作にも着手。ゼミの時間はそれぞれの研究の進捗について発表し、終了後は打ち合わせや収録、ゼミ以外の日には番組作りのための取材などもします。夏休みには合宿として北海道帯広市のコミュニティFM「FM-JAGA」を訪問。今年は街頭インタビューや、地元の学生とのディスカッションをしました。番組作りはむしろ辛いことの方が多いのですが、ゼミ生は番組作りを実践しながら学びを深め、課題を発見し、総合的に考える力を身につけることができます。同時に、人に何かを伝えることの大切さも学んでいます。

私のゼミは「社会人準備ゼミ」でもあるので、学生には「ホウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）」を徹底させ、挨拶についてもよく話しています。ゼミ生には基本的な行動ができる、人との信頼関係を大切にできる人間になってもらいたい。それができていない時には厳しく叱ることもあります。卒業生の姿を見ると、このゼミを通して伝えようとしていることはしっかりと受け止められているようです。

坂田謙司（さかた・けんじ）

Profile

産業社会学部教授

約16年の社会人経験後、39歳の時に大学教員を目指して大学院へ進学。戦後日本農村で独自に生み出された有線放送電話史研究で博士号を取得。地域に根ざす音のメディアについて、現在と歴史の両視点で研究を行っている。趣味は花写真撮影。産業社会学部校友会HPやFacebookで見られる。徹らず怠らずが座右の銘。



番組制作を通して多様な力を身につける

ゼミでは、京都のラジオ局や大学と提携して、ラジオ番組の企画・収録も行なう。ゼミ生たちは番組制作を通してラジオの実情を学べると同時に、企画力や構成力、そして思いを人に伝える力を身につけていく。

取材日当日は、夏休みの合宿で訪れたFM-JAGAのパーソナリティ・栗谷昌宏さんが、ゲストスピーカーとしてゼミに参加。ラジオの現場に携わる方の経験に基づいたアドバイスは、ゼミ生たちの今後の研究方針の手がかりになっているようだ。ゼミ中の緊張感ある空気、それと打って変わって終了後の打ち解けた空気から、学生と教授、そして学生同士の間に、尊敬や信頼の気持ちに彩られた「絆」が育まれているのが感じられた。



3回生	Schedule
4月～6月	春休み中に実施したラジオ局調査報告書作成
7月	研究テーマ作成
9月	北海道帯広市でのゼミ合宿
10月～12月	研究発表、立教大学とのゼミ交流、ゼミナール大会発表
4回生	Schedule
4月～6月	卒論計画書作成
7月	進捗状況発表
10月～12月	進捗状況発表、下書き添削
1月	卒業論文提出

Student's Voice

ラジオのこれから、「自分たちのこれから」について考え抜ける場所

産業社会学部3回生 北野阿沙さん



ゼミの一大イベントとして、北海道帯広市のコミュニティFMを訪問する夏休み中の合宿があります。今回は2日という短い期間で企画から収録まですることになり、ばやきながらも一人ひとりが役割を果たすことの大切さを学ぶことができました。このゼミにしなければ、ラジオについてここまで考え抜くことはなかったと思います。考え抜くことがなければ人間的にも成長できません。坂田ゼミは、ラジオのこれから、そしてなによりも「自分たちのこれから」について考え抜ける場所だと思います。

BKC

服部ゼミ（薬学部）

📖 服部ゼミ（臨床薬理学研究室）：薬学部 服部尚樹 教授

📖 ゼミテーマ：薬物治療の最適化：ホルモン自己抗体陽性患者における臨床検査の再評価

6年制の薬学部では、学生は4回生の後期から6回生前期までの2年間、それぞれのテーマに向かって研究を進めます。服部ゼミ（臨床薬理学研究室）では、これからの薬剤師の役割として重視される「臨床」に関わる研究を深めています。

Interview

内分泌系ホルモンや糖尿病などに関わる臨床を研究

『臨床薬理学研究室』では、成長ホルモン、プロラクチン、インスリンなどのホルモンに関する臨床的な研究をしています。

プロラクチンというホルモンは、女性が妊娠した時や、脳下垂体にプロラクチンを作り出す腫瘍ができた場合などに分泌量が多くなりますが、「マクロプロラクチン血症」という病態の場合にも数値が異常に高くなることが確認されています。一定の条件が重なってしまうことで誤診も起こり得るのです。このような事態を防ぐため、研究室では多数の検体を調べる「スクリーニング」を行なっています。現在、スクリーニングができるのは、日本では立命館と東京女子医大の2カ所のみ。全国から送られてきた検体をアッセイ（評価）し、検討した結果を報告しています。

スクリーニングには高感度なアッセイ系が必要ですが、この研究室の強みは、従来よりはるかに高感度なアッセイ系を自ら作ることができるということ。現在は、甲状腺刺激ホルモンをターゲットにしたアッセイ系を確立し、甲状腺刺激ホルモンに対する自己抗体の臨床的意義を調べています。

ほかにも、インスリン治療中の糖尿病患者で、インスリンの効果を減弱させたり、急激な低血糖を引き起こす可能性のあるインスリン自己抗体がどのくらいの頻度で生じるのかといった研究もしています。

大きな発展が見込まれる、これからの薬剤師の役割

薬学部の学生はみな、研究と就職活動と同時に、薬剤師国家試験の対

策にも取り組まなければなりません。4回生の後半には、実技と知識を試す薬学共用試験を受験。5回生になると病院と薬局で各11週間実務の経験を積み、さらに卒業研究、就職活動、国家試験の勉強に取り組めます。大変シビアで、相当な勉強量を必要とする学生生活ですが、学生たちは、はっきりと進路を見据えて学びを深めています。

今、6年制薬学部で重視されているのは臨床。この研究室の学びは、ちょうどこれからの薬剤師像に合った感覚を養うことが可能です。これからは欧米のように、病院に行く前にまず薬局で薬剤師が患者の健康相談に乗り、患者の状態を判断しなくてはならなくなるでしょう。また、高齢社会では自分で病院へ行くことができない患者を医療関係者が訪問する機会が増えてきますが、その際にも薬剤師の働きが注目されています。さらに、「チーム医療」の現場でも薬剤師の活躍が期待されています。薬剤師の仕事の幅はこれからますます広がっていくのです。

学生たちには、楽しい学園生活を送りながらも、自分をしっかりみつめ、常に何をしたいのかを考え、ぜひ自分の進みたい道に進んでもらいたいですね。

服部尚樹（はっとり・なおき）

Profile

薬学部教授

1983年京都大学医学部卒業、医師免許取得。内科専門医。京都大学医学部附属病院、大阪北野病院勤務。1986年京都大学第2内科大学院入学、1990年医学博士修得。神戸医療センター中央市民病院糖尿病内分泌内科、関西医科大学薬理学教室准教授を経て2009年より現職。



ハードな日々を支える仲間が存在

「世界に発信できる人材」を目指す服部ゼミでは、英語の論文を読んで理解した内容をわかりやすく説明することでスキルの上達に励み、学会での発表を目標に日々の研究を進めている。また、2カ月に1度ほどのペースで中高生に血圧の測り方や心肺蘇生法を教えるなどし、中高生の反応から新たな学びを得ている。

薬学部では今年度から、縦割りの「アドバイザー制度」を導入。服部ゼミでは、各学年から学生が集まるこの縦割りクラスで月に1回食事やスポーツをすることで、研究活動以外でも縦横の結束を強くしている。教授と学生も親しく、研究室に流れる空気はアットホーム。研究、就活、国家試験の受験とハードな日々を送る学生たちだが、その笑顔は充足感で輝いている。



5回生	Schedule
前期は『The Cell』（英文分子生物学テキスト）を、後期は各自のテーマに関連した英語論文を使用して研究・発表。そのほか、実験計画に基づき日々実験を行なう	

Student's Voice

失敗の理由を考える過程に意義を見出し、さらに実験を重ねる

薬学部5回生 高橋淳子さん



薬学部では、私たちの学年が一期生。そのため先輩がおらず、直接教授から手技を教わるという貴重な体験をしています。研究室の特徴は、実際に患者の血液を用いて実験できるということ。現在は主として糖尿病患者の血液を取り扱い、将来的には各患者に最もふさわしいインスリン療法を提供できることを目指しています。実験が失敗に終わることもしばしばですが、失敗の理由を考える過程に意義を見出し、仲間と協力して実験を重ねる日々はとても充実しています。



SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

立命館宇治高等学校女子陸上競技部

第24回全国高等学校駅伝競走大会において5年ぶり3回目の優勝

(12月23日 京都市西京極総合運動公園陸上競技場)
第24回全国高等学校駅伝競走大会において、京都府代表として出場した立命館宇治高等学校女子陸上競技部が5年ぶり3回目の優勝を果たしました。レースでは、1区の菅野七虹主将が7位と健闘。2区の岩井朝香選手(2年生)が順位を3位にまで浮上させる走りを見せると、3区の池内彩乃選手(2年生)がさらに2位へと順位を上げ、4区では1位との差をさらにつめ、接戦へと持ち込む粘りの走りを展開。そして、最終走者5区の青木奈波選手(3年生)が、2キロ地点で1位の豊川高等学校をかわし、1時間7分22秒でゴールテープを切りました。



女子陸上競技部

第31回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会に女子陸上競技部学生が出場

(1月13日 京都市)
第31回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会に立命館大学の学生が出場しました。女子陸上競技部からは、飯下明音さん(経営3)、三井綾子さん(スポーツ健康科学3)、平井見奈さん(経済3)、津田真衣さん(経営2)、福谷好恵さん(スポーツ健康科学1)など7名の選手がエントリーし、各チームの躍進に

貢献する活躍を見せました。また、2012年3月に本学を卒業した田中華絵さん、岩川真知子さん、竹中理沙さん、沼田未知さんなどOGの方も出場しました。

Windward

板庇雄馬さん(スポーツ健康科学2)のウインドサーフィンRSX級世界選手権への出場が決定

(11月4～7日
沖縄県国頭JALプライベートリゾートオクマ)



ウインドサーフィンサークルWindwardに所属する板庇雄馬さん(スポーツ健康科学2)が、2012年全国日本学生ボードセリング選手権大会において優勝を果たし、2013年3月にブラジルで開催されるウインドサーフィンRSX級世界選手権へ日本代表として出場することが決定しました。板庇さんは、高校在学中に史上最年少でWAVE競技のプロに転向し、大学入学後からレース競技を始め、同選手権2度目の出場で優勝を果たしました。世界選手権での好成績が期待されます。

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

ダブルダッチ

世界大会「DOUBLE DUTCH HOLIDAY CLASSIC」で初優勝

(12月2日 ニューヨーク・アポロシアター)
ダブルダッチの世界大会「DOUBLE DUTCH

HOLIDAY CLASSIC」において、国内大会で2位と3位を獲得して日本代表として出場した、本学のダブルダッチサークル「Fusion of Gambit」の「戎」が優勝、「M.A.D」が3位入賞を果たしました。今回は、2011年に本学のチームが獲得した2位と3位を超える快挙達成となりました。



囲碁研究部

第56回全日本大学囲碁選手権で3年ぶり5回目の優勝

(12月23～26日 東京都 日本棋院本院)
第56回全日本大学囲碁選手権において、関西代表校として出場した囲碁研究部が、3年ぶり5回目の優勝を果たしました。全勝対決となったライバル・早稲田大学との最終戦では3勝2敗で勝利し、日本一を勝ち取りました。また、12月20日(木)から22日(土)にかけて開催された第11回全日本学生囲碁王座戦において、柳田朋哉さん(文1)が優勝し、11月の第49回全日本学生囲碁十傑戦優勝に続き、学生個人タイトル二冠に輝きました。



将棋研究会

第43回全日本学生将棋団体対抗戦(通称：学生王座戦)で準優勝

(12月23～25日
三重県 三重北勢地域地場産業振興センター)
第43回全日本学生将棋団体対抗戦において、将棋研究会が準優勝を果たしました。大会2日目を終え、1敗で4校が並ぶ大接戦となった大会3日目。優勝をかけた東京大学との一戦に惜しくも3-4で破れたものの、その後早稲田大学に勝利するなどして、準優勝を果たしました。なお、12月21日(金)から22日(土)にかけて開催された第41回全日本学生将棋十傑戦(通称：学生王将戦)において、中川慧梧さん(産社2)が2年連続で優勝を果たし、学生王将位の称号を獲得しました。



珠算部

全日本珠算競技大会そろばんクリスマスカップ2012団体総合競技で3年ぶり3回目の優勝

(12月23日 埼玉県 さいたま市文化センター)
全日本珠算競技大会そろばんクリスマスカップ2012団体総合競技において、珠算部が3年ぶり3回目の優勝を果たしました。同部は、七夕そろばんワールド2012、全日本通信珠算競技大会での優勝に続く、2012



年度3度目の団体競技日本一を獲得しており、今後のさらなる活躍が期待されます。

写真研究会

立命館大学写真研究会と慶熙(キョンヒ)大学校写真部との交流報告写真展示会を開催

(1月7～11日 衣笠キャンパス)
衣笠キャンパス諒友館地下食堂ROSSOにて、立命館大学写真研究会と協定校である韓国の慶熙大学校の写真部との交流報告写真展を開催しました。立命館大学と慶熙大学校は1994年より文化・スポーツ交流協定に基づき、毎年学生の交流を行なってきました。2012年は、12月5日(水)から8日(土)にかけて写真研究会から14名を慶熙大学校ソウルキャンパスへ派遣しました。今回の交流報告写真展では、慶熙大学校写真部とフィールドワークを行なったソウル市内で撮影された作品60点あまりが展示されました。



CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

学生FDスタッフ主催による学生と職員との交流企画を開催

(12月11日 衣笠キャンパス)
衣笠キャンパスにて、学生FDスタッフ主催による新企画「あの頃君は若かった～学生と職員との対話の場～」を開催しました。この企画は、立命館大学の4名の職員を登壇者としたパネルディスカッションと、職員を交えた参加者による「しゃべり場」を通して、参加学

生に立命館大学の魅力を再発見してもらい、今後の大学生活を新たに設計してもらうことを目的に開催されました。当日は、一般学生11名に加え、一般職員3名が参加し、学生FDスタッフら主催者側と合わせて計25名の充実した企画となりました。参加者はみな真剣に職員の話に耳を傾け、メモを取る姿も多く見られました。



第18回BKC冬の国際交流企画「異文化フェスティバル2012～」を開催

(12月18日 びわこ・くさつキャンパス)
びわこ・くさつキャンパス(BKC)において、2012年度第18回BKC冬の国際交流企画「異文化フェスティバル2012～」を開催しました。この企画は、留学生、日本人学生、地域の方々、教職員が交流、親睦を深めることを目的に、毎年BKCで留学生支援団体TISAと国際教育センターが企画・運営をしています。交流企画では、山形県から参加したボランティアグループによる餅つき体験、学生のクラブ・サークルによるマジック、ダンス(RDC)、よさこい(櫻嵐洛)などのパフォーマンスや茶道研究部と書道部による日本文化を体験するブースなど、留学生が日本の伝統文化に触れる貴重な機会となりました。



東日本大震災 私たちにできること

年末にかけて岩手県大船渡市と宮古市でボランティアバス企画を実施

立命館災害復興支援室は、12月21日(金)から27日(木)にかけて、東日本大震災の被災地である岩手県大船渡市と宮古市でのボランティアバス企画を実施しました。今回の企画では、被災された方々に心温まる時間を過ごしてもらうことを目的として、学生たちが子どもからお年寄りまで楽しめる様々な企画を準備しました。大船渡市で活動したグループは、岩手県遠野市のNPO法人遠野まごころネットが企画した「サンタが100人やってきた!」



プロジェクトに参加し、サンタの衣装を着て町を歩きながら子どもたちにプレゼントを配布しました。宮古市で活動したグループは、宮古市社会福祉協議会の協力を得て、市内の仮設住宅や公民館等のコミュニティスペースでクリスマスカードや京都産の北山杉の板を使った手作り表札づくりのワークショップなどを実施しました。

「団士郎 家族漫画展」を開催

1月18日(金)から2月17日(日)にかけて、朱雀キャンパス1階ロビー周りにて、団士郎・応用人間科学研究科教授の「家族漫画展」を開催しました。今回の漫画展では、団教授が25年間つとめた、児童相談機関心理職の仕事で出会った人々の実話をまとめた漫画「木陰の物語」の原画を展示しました。知人の紹介で来場していた女性は「以前に団先生の本を読んだことがあり、その時大変興味深く感じたので見に来ました。パネルになっているのでじっくり読みやすく、どの物語も考えさせられます」と感想を述べていました。



東日本大震災の“リアル”を伝える復興支援GPSメディアの完成報告会を開催

2月2日(土)、衣笠キャンパスにおいて、東日本大震災の“リアル”を伝える復興支援GPSメディアの完成報告会を開催しました。GPSメディア「Re: vibe TOHOKU Seize the Day」は、GPSとWebドキュメンタリー、そしてテキストを連動させて紹介するものです。観光客やボランティアが被災地の特定の場所を訪れた際、被災された方々の心境や、災害を乗り越えて現在感じている希望を、映像や画像を通じて体感してもらい、被災地の状況を国内外に広く伝えることを目的に作られました。映像学部の中村研究室に所属する岩手県出身の小笠原夢樹さん(映像4)と、福島県出身の渡部峻さん(映像2)が、株式会社 supernovaと共同で開発を進め、被災地を実際に巡り、出会った人たちにインタビュー取材と映像撮影を行ないました。



開発に携わった小笠原さん(写真左)と渡部さん(写真右)

立命館大学大阪茨木新キャンパス建設用地埋蔵文化財発掘調査現地説明会を開催

2015年4月開設の大阪茨木新キャンパス建設用地で、12月15日(土)に埋蔵文化財発掘調査現地説明会を開催しました。600名を超える考古学ファンや周辺住民の方々が参加し、弥生時代から古墳時代にかけての遺構・遺物や古墳を見学しました。茨木市教育委員会の学芸員から、列状に並んだ弥生時代後期の大規模な土坑群や周辺地区の遺跡との関連性などに関する説明が行なわれました。埋蔵文化財発掘調査は2013年3月下旬まで実施され、4月以降に新キャンパスの工事が着手される予定です。



整列した状態で見つかった土坑群

平井嘉一郎氏・信子氏に立命館名誉館賓称号を授与

1月17日(木)、朱雀キャンパスにおいて、平井嘉一郎氏(ニチコン株式会社創業者・故人)および信子氏に対する「立命館名誉館賓」称号の授与式を行ないました。両氏は、法学研究科・法務研究科院生への「平井嘉一郎研究奨励賞」の授与をはじめ、2015年秋竣工予定である衣笠新図書館(平井嘉一郎記念図書館)建設のための多大な寄附をされ、立命館大学の教育・研究の発展に対し功績卓絶の貢献をなされました。授与式では、川口清史総長が「大学の将来を支える重要な教育



活動(教育環境整備等)を卒業生個人のご意志を受けたご支援によって推進できることは、歴史的な出来事。その高邁なるご意志に敬服し、心から感謝申し上げます」と謝辞を述べました。

新体育施設「京都衣笠体育館」竣工式を開催



1月31日(木)、衣笠キャンパスに完成した新体育施設「京都衣笠体育館」の竣工式を開催しました。京都衣笠体育館は、地下3階・地上1階、延床面積9400㎡の規模で、体育会クラブ11団体の練習、「スポーツ方法実習」の授業で使用します。また、約1,100台の収容数を誇る地下駐輪場や学生と地域住民が交流できる広場も兼ね備えています。近年のエネルギー問題、環境問題を鑑み、機能性や効率性だけでなく環境への配慮も求められていることも受け、本施設は、環境負荷を軽減すべく、地下湧水を活用した温度管理や屋上緑化、太陽光パネルと水盤の設置など、様々な工夫を凝らした施設となっています。

文学部 吉田甫・特任教授、孫琴・助手らの研究グループが認知症高齢者の抑制機能の低下を食い止め、改善する方法について科学的な検証に成功

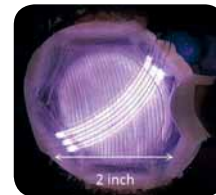
文学部 吉田甫・特別任用教授らの研究グループは、認知症の患者でも行なうことができる計算等の簡単な課題を継続的に遂行す



ることにより、認知機能(記憶する能力、抑制する能力、注意する能力、計画する能力など)の内、行動や感情などを抑制する能力である抑制機能の低下の進行を遅らせ、改善が期待できることを科学的に実証しました。本研究成果は、認知症の患者本人に対してだけでなく、家族、介護施設の負荷を減らし、さらには社会保障関係費の削減という面からも期待されます。

世界初「マイクロプラズマ励起大面積高出力深紫外発光素子(MIPE)」の開発に成功～国連水銀条約をクリアする水銀フリー大面積・高出力深紫外発光を実現

立命館グローバルイノベーション研究機構(R-GIRO)の青柳克信・特別招聘教授と株式会社PIリサーチの黒瀬範子・主任研究員は、浄水場の水や病院・工場のクリーンルームの空気の殺菌などに幅広く利用されてきた水銀ランプにとって替わる光源として、波長の短い深紫外光を作り出す「マイクロプラズマ励起大面積高出力深紫外発光素子(MIPE)」の開発に世界で初めて成功しました。水銀ランプに含まれる水銀の使用が、2013年秋に国連の水銀条約(水俣条約)の締結によって大幅規制されることが予定されており、深紫外線LEDと比較して製造コストも安価に抑えることができるMIPEは、水銀ランプに替わる光源として期待されます。



立命館大学グローバル30 セミナー “What is a multi-cultural campus?”を開催

2月15日(金)、衣笠キャンパスにて多文化共生キャンパスのあり方をテーマとした立命館大学グローバル30 セミナー “What is a multi-cultural campus?”を立命館アジア太平洋大学とともに開催しました。本セミナーは、韓国の延世大学から国際担当副学長であるMo Jongryn教授、そして文部科学省から高等教育局教育企画課国際企画室の国

際企画専門官である佐藤邦明氏をゲストに迎え、大学のガバナンス、教育研究、そして学生の学びと成長の視点から、多文化共生型キャンパスへの期待と現実、そして今後の課題について考えることを目的に開催されました。堀江未来・国際部副部長が司会を務め、HICKS Joseph・立命館アジア太平洋大学(APU)教育開発・学修支援センター長も参加して行なわれたパネルディスカッションでは、多様な視点から議論が深められました。



キャンパスアジア・プログラム「移動キャンパス」がスタート

立命館大学文学部・広東外語外貿大学(中国)・東西大学校(韓国)は、2月17日(日)より広東外語外貿大学にて、キャンパスアジア・プログラム「移動キャンパス」をスタートさせました。3大学から選ばれた学生28名が、2年間にわたって3カ国を巡り学ぶ「移動キャンパス」では、各国語の学習、社会や文化を現地の言語で学ぶフィールドワーク型授業、そして、近現代史を中心に各国の歴史教科書を用いて提供大学の母語で議論する講義などが実施されます。3大学は、「移動キャンパス」を通じて、国際的に通用する語学力、人文学専門知識、コミュニケーション能力を身に付け、東アジアを舞台とする企業・公共機関・教育研究機関・NPO等で実践的に活躍する人材を育成することを目指します。



広東外語外貿大学(中国)でのキャンパスアジア・プログラム「移動キャンパス」開講式の様子

「Beyond Borders」プロジェクトを展開中

2013年1月から「Beyond Borders」をキーフレーズに、世界や自分の限界に挑戦する学生、教員、校友のリアルな姿やそれを後押しする立命館の取り組みを発信するプロジェクトをスタートしています。「Beyond Borders」のルーツとなった「Creating a Future Beyond Borders」という言葉は、2020年に向けて私たち立命館のあるべき姿を表したもので、「多様な個性が集う伝統がある立命館で一人ひとりがあらゆるborderを超え、仲間とともに、未来を生みだすために進んでいこう」という想いを込めています。

特設サイトでお伝えするそれぞれのエピソードにもご注目ください。

★「Beyond Borders」プロジェクト特設サイトはこちら

<http://www.ritsumei.ac.jp/bb/>



You tube「Ritsumeikan Channel」開設のお知らせ

学生の活躍、最新の教育・研究など立命館大学の今を映像で見ることができる立命館公式チャンネル「Ritsumeikan Channel」をYoutubeで開設いたしました。今後は、広小路キャンパスや1980年代の衣笠キャンパスなど、なつかしい映像も順次アップしていく予定です。ぜひご覧ください。

★You tube「Ritsumeikan Channel」はこちら

<http://www.youtube.com/user/ritsumeikanu>



携帯電話などから読み取って直接ご覧いただけます。

立命館大阪梅田キャンパス 2013年度 公開講座のご案内

大阪・京都文化講座(前期) 「災害・戦災の歴史―その教訓に学ぶ」

大阪大学21世紀懐徳堂・立命館大学文学部・立命館大阪オフィス 共催
●コーディネーター 飯塚 一幸(大阪大学 大学院文学研究科 教授)、桂島 宣弘(立命館大学 文学部 教授)

開催日	講師名	講演タイトル
1 5/20(月)	本郷 真紹(立命館大学文学部 教授)	古代の天災
2 5/27(月)	市 大樹(大阪大学文学研究科 准教授)	日本古代の災異と復興
3 6/3(月)	三枝 暁子(立命館大学文学部 准教授)	室町期京都の都市社会―災害・飢饉をめぐって―
4 6/10(月)	川合 康(大阪大学文学研究科 教授)	源平合戦と源頼朝の復興政策
5 6/17(月)	北原 糸子(立命館大学歴史都市防災研究センター 教授(-3月末))	災害対応の歴史―近世と近代
6 6/24(月)	村田 路人(大阪大学文学研究科 教授)	江戸時代上方地域の治水システム
7 7/1(月)	山崎 有恒(立命館大学文学部 教授)	近代京都の防災思想・技術・システムとその変容
8 7/8(月)	飯塚 一幸(大阪大学文学研究科 教授)	大阪における防空と都市計画

●受講料 1回1,500円(7回以上一括申し込みの場合、10,000円)

いずれの講座も、

●申込受付開始日時 3月18日(月)9:00～(お電話でのお申込みはできません)

●会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)

●時間 14:00～15:40(講演90分、質疑応答10分)

●定員 各回100名【先着順】(定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください)

※詳細は立命館大阪梅田キャンパスホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 立命館大阪オフィス TEL:06-6360-4895

立命館東京キャンパス 2013年度 公開講座のご案内

「金融と法」東京講座 主催:立命館大学大学院法学研究科

先端金融技術や新しい金融ビジネスモデルをファイナンス理論、法、税務等の総合的視点から検討し、実務に生かすことのできる活きた知識を身につける社会人向け講座です。

●主任教授 大垣 尚司(立命館大学大学院法学研究科教授、金融・法・税務研究センター所長)

●開講日時

前期	4/6(土)～7/27(土)	水・金曜日 18:30～21:40
後期	9/25(水)～12/14(土)	土曜日 13:00～17:50

お問い合わせ先 立命館東京キャンパス TEL:03-5224-8188

講座の詳細はホームページでご確認ください。
http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/index_j.html

木津川 計(「上方芸能」発行人、元立命館大学教授) 「一人語り劇場」の思想

開催日	講演タイトル
1 4/26(金)	「王将」―阪田三吉が利用された時代―
2 6/28(金)	「父帰る」―なぜ父は帰ってこれたのか―
3 8/2(金)	「一本刀土俵入」―長谷川伸と股旅の女性崇拜―
4 10/25(金)	「婦系図」―立身出世主義が埒外にしたもの―
5 12/13(金)	「無法松の一生」―検閲が芸術を圧殺する―
6 2014年2/28(金)	「語る落語」―女のアホが落語にいない訳―

●受講料 1回1,500円(全6回一括申し込みの場合、7,500円)

安斎 育郎(立命館大学名誉教授、安斎科学・平和事務所所長)

気儘放題(きままほうだい)―命日に故人を想う

開催日	講演タイトル
1 5/14(火)	中国の女傑・江青(1991年5月14日没)
2 7/9(火)	軍医総監・森 鷗外(1922年7月9日没)
3 9/10(火)	戦時の言論人・桐生 悠々(1941年9月10日没)
4 11/12(火)	反戦活動家・石垣 綾子(1996年11月12日没)
5 2014年1/14(火)	水戸の御老公・徳川 光圀(1701年1月14日没)
6 2014年3/11(火)	手品師・ホフツィンガー(1875年3月11日没)

●受講料 1回1,500円(全6回一括申し込みの場合、7,500円)

立命館孔子学院東京学堂 中国語講座 主催:立命館孔子学院

少人数のクラスで、入門から準上級まで実践的なスキルを身につける中国講座です。

医療経営講座 主催:立命館大学医療経営研究センター

第7回 税法連続公開東京講座 主催:立命館大学 金融・法・税務研究センター

2013年8月開講予定。



「楽しむ囲碁」で頂点を目指す

田中伸幸 さん(政策科学部4回生)

囲碁研究部

個人では、全日本囲碁学生十傑戦、全日本学生囲碁王座戦、全日本学生本因坊決定戦の3大タイトル、団体でも全日本大学囲碁選手権(団体戦)のタイトル獲得に貢献するなど、学生の中でも屈指の成績を残し続けてきた田中さん。4月からは、プロ棋士としての活動が始まる。

田中さんが囲碁を始めたのは小学5年生。囲碁をテーマにしたアニメをきっかけに興味を持ち、近所の教会所に通い始めた。中学校、高校でも全国トップレベルの活躍を続けていたが、クラブなどの団体には所属せず、インターネットを通じた対局など独学で活動していた。そのため、経験や知識の不足が否めず、大学進学にあたっては、全国で一・二を争う強豪であり、同世代と競い合い、先輩から学ぶことができる環境が整っていた立命館大学への進学を決めた。



囲碁研究部の活動は、平日3時間から4時間。日々、対局と戦術の検討、研究を重ねていく。囲碁では、様々な局面で取り得る選択技は無数にあり、誰も考えたことのない新たな戦術を編み出すことができる。「実力を伸ばすには、まず練習の量が必要です」と田中さんが答えるように、ライバルでもある先輩・後輩と競い合うことのできる環境で多くの練習量をこなし、自分では気付かなかった多角的な視点を学ぶことで、着実に自分の中で戦術の引き出しを増やしていった。

さらに田中さんの囲碁に対する考

え方に大きな影響を与えたのは、囲碁研究部で毎年実施している韓国・中国合宿だった。日本との大きな違いは、韓国や中国では、全てにおいて勝つことへの意識が徹底されていること。持ち時間の使い方や戦術など、かたちにこだわらず強引にでも勝ちに行く。芸術的に、綺麗に勝つことを好む傾向があると言われていた日本とは大きな違いがあった。しかし、田中さんはこうした勝ちにこだわる囲碁に触れたことが、逆に勝ちを意識しすぎるのではなく、自由な発想で実力を発揮することができる「楽しむ」ことを大切にしたい囲碁への確信を深めるきっかけとなった。

プロ棋士への挑戦を決めたのは4回生の6月。3回生から、本気でタイトル獲得を狙ってより一層練習を重ねたことで、3回生で全日本学生囲碁王座決定戦、4回生で全日本学生本因坊決定戦のタイトルを獲得。自分自身でも実力が伸びていることを実感していたこともあり、思い切って棋士採用試験にチャレンジした。通常は14歳までに日本棋院や関西棋院に院生として採用されてプロ棋士になることが一般的な中、本戦、予選と厳しい戦いを勝ち抜き、2012年12月、見事プロ棋士の座を勝ち取った。

囲碁も勝負事である限り、勝つことが重要であることに変わりはない。しかし、「楽しんで勝ちたい。自由に打って勝ちたいと思っています。みんな同じパターンで勝っても面白くありません。打っているほうも、観ているほうも楽しむことができるプロ棋士を目指したいと思っています」と語ってくれたように、田中さんはあくまで囲碁を「楽しむ」姿勢でプロ棋士の世界でも頂点を狙っている。

校友の皆さんへのメッセージとして「古田敦也さんや倉木麻衣さんのように、立命館大学を代表する校友になれるようにがんばっていきたいです」と語ってくれた田中さん。「楽しむ囲碁」で頂点を極める日もそう遠くはないかもしれない。

校友会・グループ インフォメーション			
校友会・グループ	日 時	会 場	問い合わせ先
第7回立命寄席	4/6(土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局 075 (813) 8216
九州ブロックゴルフ大会	4/20(土)	福岡県内	
天理わだつみ会総会	5/11(土) 12:00	川原城会館	
奈良県北部校友会総会	5/12(日) 16:00	ホテル日航奈良	寺田 惇 090 (5971) 9752
ウリ同窓会総会	6/1(日)		申 俊雨 (職) 06 (6352) 1166
駿府会総会	6/8(土) 18:00	豊橋市内	
滋賀県校友会総会	6/16(日) 15:00	大津プリンスホテル	
奈良県校友会総会	6/22(土) 13:00	奈良ロイヤルホテル	土田 次郎 0744 (43) 5043
技術士会総会	6/22(土) 14:00	中央電気倶楽部	
新潟県校友会総会	6/29(土) 14:00	ホテルイタリア軒	
香川県校友会総会	6/29(土) 16:00	ホテルパールガーデン	穴吹 学 087 (862) 3565
大阪校友会年次大会	7/5(土) 18:30	スイスホテル南海大阪	立命館大阪キャンパス 06 (6360) 4895
八幡支部総会	7/7(土) 16:30	東華菜館	岡島 完治 075 (983) 3063
オール立命館校友大会2013in京都	10/26(土)	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075 (813) 8216

校 友 消 息 (判 明 分)

叙勲2012年秋 ■瑞宝小綬章 佐々木嘉久氏(‘63法) 元香川県水道局長	就 任 (内定含む) 衆議院議員 穀田恵二氏(‘69文) 泉 健太氏(‘98法)	鈴木秀典氏(‘79法) F&Aアクアホールディング ス代表取締役社長 3月1日就任
受 賞 三輪金久氏(‘63経済) 保護司法務大臣表彰 泰文堂書店社長	宮川一幸氏(‘79経営) 西川リビング(株) 代表取締役社長 2月1日就任	三木純一氏(‘77理工) ローランド(株) 代表取締役社長 4月1日就任予定
村田吉弘氏(‘74産社) 2012年度京都府文化賞功労賞 料亭「菊乃井」主人	福井正明氏(‘76法) 高島市長 2月13日就任	訃報 大谷良一氏 (本学名誉教授) 2月6日で逝去。83歳
	山下晃正氏(‘75理工) 京都府副知事 2月28日就任	

BOOKS

校友会へご惠贈くださいました本の中から紹介させていただきます。		
◆一文字 真氏(‘71法) 著 『ささやかな美学を持とう!』 日本文学館＊500円＋税	◆永田満徳氏(‘77文) 著 『句集 寒寮』 文学の森＊2667円＋税	
◆一色 尚氏(‘65法) 著 『子育てはぶつかり稽古』 スクールマネジメント研究所＊1800円＋税	◆平野敦士氏(‘86経営) 著 『スラスラわかる確定申告』 成美堂出版＊1400円＋税	
◆樫原 勉氏(‘73理工) 著 『こだわり鉄道つたい歩き 第2弾』 杜陵印刷(株)＊9800円	◆『ひとりで行ける 個人事業者の確定申告』 成美堂出版＊1300円＋税	
◆典厩五郎氏(‘63文) 著 『NAGASAKI 長崎 夢の王国』 毎日新聞社＊1900円＋税	◆山根悠謳氏(‘78理工) 著 『「野ざらし紀行」とすみれ』 日本文学館＊700円＋税	

新 校 友 歓 迎 会 の お 知 ら せ

企画名	開催日	場 所	問い合わせ先・参照URL
東海エリア新校友歓迎会	6月頃	名古屋 (予定)	校友会事務局 075 (813) 8216 ※詳細が決まりましたら、下記HPでお知らせいたします。 http://alumni.ritsumeij.jp/reconnect/
関西エリア新校友歓迎会		梅田 (予定)	
関東エリア新校友歓迎会		東京都内 (予定)	

※このほか、各地でも歓迎会が開催される予定です。詳しくは、校友会ホームページをご覧ください。

2013 年 4 月 1 日より、
立命館大学はキャンパス全面禁煙になります。



立命館大学では、受動喫煙の防止とキャンパス全面禁煙に向けて 2008 年より継続的に取り組みを進めてまいりました。
2013 年 4 月 1 日からは、キャンパス内を全面禁煙といたします。
校友の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



昨 年 11 月「悪魔の宝くじ」に当り、18 日間入院した。1 週間ほど絶食、24 時間の点滴、59 歳にして七転八倒の痛みに耐えた。

「痛みに余裕をかます歳ではありません」と看護師にいさめられ、早めの治療が肝要と笑われてしまった。肉体のちから、蓄えが「枯渇」です。

さて、今回の『りつめいインタビュー』ゲストの森村義明さん、末川博元総長の教えを経営や生き様に体现されています(詳細は本文)。60 年代のお話も、現在のお仕事も「迫力の醍醐味」に、今年還暦の若造は「活」を入れられた思いでした。また、昨年から経済学部同窓会の役員を仰せつかり「活性化プロジェクト」に関わる事になりました。若い先生方の熱い想いと企画に感動し、母校の「誉れ」に触れた思いです。還暦の「若造リセット」なるか。転機かもしれませんね。(オ)

「無 事 是 貴 人」。ある方から、海外の方に質問を受け当惑をさ

れたお話を頂きました。それは、日本人は忘年会で会って、またすぐ新年会で会って名刺交換を同じ人々とよくするが無駄でないか? と言われたそうです。そのお話を聞いてすぐに浮かんだのが冒頭の句でした。本来の意味は別にあるようですが、茶席での掛物でこの墨蹟を目にした人は無事である貴さを再確認する事となります。

これを執筆する直前に今年もホッケー部の年間必勝祈願を奉務先でご奉仕しました。その願意には「8 冠」とあります。新たな年を重ね、先輩から後輩へと引き継がれる年中行事は変わらず続いています。スポーツに勉学に日々励む事が出来る「無事」を確認し、広く世界へ羽ばたいていって欲しいと心から願いました。

(乾)

確 か、1 年前の編集後記にも新春ジュリーのコンサート興奮模

様を書いた。今年もオールスタンディング「ジュリー!」の声援で声を枯らしたあと、本人の口から年末44 年ぶりのタイガース再結成の報告。さっそく1 年の抱負に、「タイガース追っかけ」を追加した。昨年暮れに大学ゼミのプレ同窓会が三十数年ぶりに行なわれた。懐かしい、わが青春。取材始めは、京都・金戒光明寺から。幕末記念館では、「生き方が美しい」と夫・ジョーに言わせたハンサムウーマン、新島八重が手にした4・4 キロのウインザー銃を両手に持ち、重さを実感する。八重で湧き立つ京都から所変わって、関西の玄関口・大阪駅では、北口構内の柱広告が立命館一色だった。わが母校も、やっ

てくれるね。

(高橋英子)

2 回目の執筆となります。初回は「立命パワー」をテーマに展開し

ました。今回はその第2 弾でいきます。先日、仕事で、たまたま母校の立命館宇治中学校・高校を取材することになりました。同校が、楽天から1600 台の電子書籍を提供してもらった件についての取材です。立命館宇治中高では、私が卒業した後から毎朝読書の時間が設けられ、より一層の多読を推進するために電子書籍が導入されました。今後は教材のダウンロードもできるように共同開発を進めるとか。驚きました。さすが立命館、新たな取り組みだらけです。卒業してはや十〇年、校舎が立派になり、学生たちは私が学生だった時代よりもずっとしっかりとしています。嬉しさと切なさで時代の移り変わりを感じたと同時に、やはり「立命パワー」を感じた1 日でした。

(松宮暁子)

立 命 館 大 学 国 際 平 和 ミ ュ ー ジ ア ム 企 画 展 の ご 案 内

2013 年 度 春 季 特 別 展

ジミー・ットム・ミリキタ二回顧展

－日系人強制収容所と9.11 を体験した反骨のホームレス画家－

映画『ミリキタニの猫』で知られるジミー・ットム・ミリキタニ(1920-2012)。第二次世界大戦中のアメリカ合衆国での日系人強制収容体験を持ち、晩年はニューヨークでホームレスとなりながらもアーティストとして生き、路上で作品を描き続けました。本展では、収容所やユーモラスでかわい猫などを描いた作品30 点と日系人収容の歴史などを紹介します。会期中に『ミリキタニの猫』上映会と特別企画展示「丸木スマ展－生命をみつめて－」も開催します。



Mother and Baby

第 79 回 ミニ 企 画 展 示

チベットの風とともに

写真家：富樫浩之が、2010 年四川省アバ滞に時に撮影した現地の写真の数々と資料を展示し、チベットの状況を伝えます。



撮影：富樫浩之

会 期

春季特別展

ジミー・ットム・ミリキタニ回顧展
－日系人強制収容所と9.11 を体験した反骨のホームレス画家－
5月14日(火) ～ 7月20日(土)

特別企画
展示

丸木スマ展－生命をみつめて－
5月14日(火) ～ 7月20日(土)

第 79 回
ミニ企画展示

チベットの風とともに
4月13日(土) ～ 5月8日(水)

常設展示(地階・2 階)は、上記展示期間以外でも見学することができます。

開 館 時 間

午前9 時30 分～午後4 時30 分(入館は午後4 時まで)

休 館 日

月曜日(祝日の場合はその翌日)

観 覧 料

一般400 円(350 円)／中・高生300 円(250 円)／小学生200 円(150 円)
() は20 名以上の団体料金／障害者手帳をお持ちの方(介護者1 名を含む)は無料

立命館大学国際平和ミュージアム
特別展・常設展
校 友 招 待 券
有効期間
2013 年6 月15 日(火)まで
(校友会「りつめい」
No.252)